

添田町

防災

ハザードマップ

SOEDA TOWN HAZARD MAP

自然災害による被害を最小限に抑えるためには、「自分の命は自分で守る(自助)」、
「自分たちの地域は自分たちで守る(共助)」という心構えが重要です。
防災ハザードマップを活用し、身の回りの危険箇所や避難所を確認するとともに、
日頃の備えやいざというときの対応に役立ててください。



Web版はこちら

STEP 1

災害を知る

はじめに ————— P1
地震を知る ————— P2
風水害を知る ————— P3

STEP 2

リスクを知る

危険度を知る ————— P6
洪水・土砂災害 ————— P7
ハザードマップ
避難を考える ————— P39

STEP 3

対応を知る

避難のタイミング — P41
情報の入手先 ——— P42
避難時の心得 ——— P43
避難先を確認 ——— P45
災害時の連絡先 ——— P47

添田町の特徴と過去の災害

添田町は森林が83%を占め、遠賀川水系彦山川をはじめとする多くの河川が流れており、これらの河川に沿う一帯は、古くから農耕地として開けています。
また、中元寺川・今川にはダムが建設され、洪水期の水量調整や農工業用水、飲料水としても利用されています。
近年では、平成29年7月九州北部豪雨や平成30年7月豪雨、令和5年梅雨前線豪雨など、多くの災害が発生しており、本町でも災害による被害が発生しています。気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化が言われており、過去の経験だけに基づいて災害の程度を判断するのではなく、ハザードマップなどに示された想定被害に備えることが重要です。



平成29年7月九州北部豪雨

添田町防災ハザードマップの使い方

STEP 1

災害を知る

地震や風水害の災害特性を掲載しています。

●災害の特性を確認 (P1～P5)

地震や風水害の災害特性を知り、安全な避難行動につなげましょう。

STEP 2

リスクを知る

洪水・土砂災害ハザードマップや我が家の安全対策等を掲載しています。

●自宅とその周辺の危険な場所等を確認 (P6～P38)

洪水・土砂災害ハザードマップで自宅の位置に○を付け、周辺に洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域など、雨が降ったら危険になる場所がないか確認しましょう。

●とるべき避難行動と安全対策を確認 (P39～P40)

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき避難行動を平常時に確認しておきましょう。

STEP 3

対応を知る

避難の基準となる警戒レベルや情報の入手先、避難所一覧を掲載しています。

●避難に関する情報を確認 (P41～P44、P47)

身の安全を守るためには、正確な情報を把握して早めの判断・行動を心がけることが大切です。テレビ、ラジオ、インターネットなどで防災気象情報や避難情報を入手しましょう。

●避難先・避難経路を確認 (P45～P46またはP6～P38)

避難所一覧で避難先を確認し、洪水・土砂災害ハザードマップに○をつけましょう。あわせて避難先までの安全な避難経路を確認しましょう。
※避難先は安全な場所であれば、自宅や親戚宅、友人宅でも構いません。

●マイ・タイムラインで確認 (添田町ホームページ)

マイ・タイムラインは、大雨や台風などの自然災害から、自身を守るための防災行動計画です。
事前に家族の避難計画をまとめておくことで、いざという時にあわてず行動ができます。災害に備え、家族で「いつ、だれが、どう行動する」か話し合っておきましょう。



地震発生時のタイムライン

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。 ●クッションや雑誌などで頭を保護する。
- 家具やガラス面から離れる。



緊急地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒～数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などに警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。



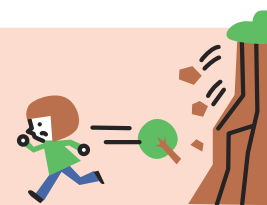
こんなときは

人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動。

山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。



路上にいる！

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。



車を運転している！

ハザードランプを点灯させ、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止めエンジンを切る。
がけや橋などの危険な場所にいる場合は、早く脱出する。

注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。



エレベーターの中にいる！

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。

注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。



揺れがおさまったらまず火の始末

- 脱出口を確保する。 ●火元を確認する。
- 家族の安全を確保する。 ●靴をはく。



隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかける。 ●余震に注意する。
- 非常持出品を用意する。 ●近所に火が出ていたら初期消火。



正しい情報を入手

- 正しい情報をつかむ。 ●電話は緊急連絡を優先。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。



協力して消火・救出・救護活動

- 壊れた家には入らない。
- 救助活動は一人ではなく複数で行う。



地震発生

発生から
1～2分

発生から
3分

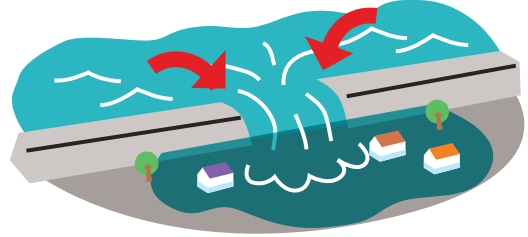
発生から
5分

発生から
10分～

洪水発生仕組み

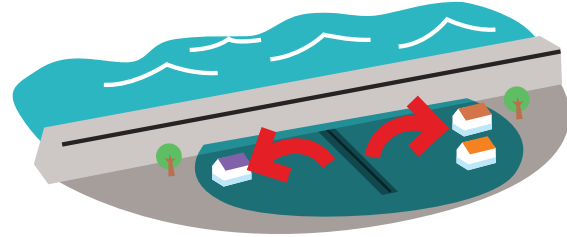
外水氾濫

河川の堤防から水があふれ、または堤防が決壊して家屋や田畑が浸水する現象のこと。



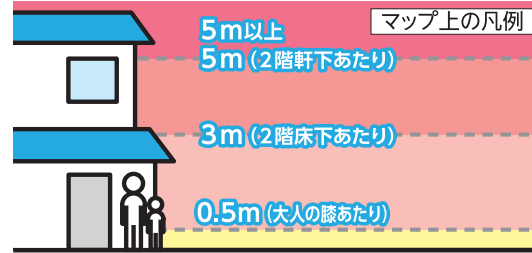
内水氾濫

大雨により、河川の水位が上昇することで、排水路からの排水ができなくなり、水があふれだす現象のこと。



洪水浸水想定区域

想定最大規模の大雨に伴う洪水によって添田町に係る河川が氾濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を洪水・土砂災害ハザードマップに示しています。



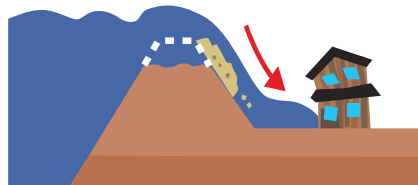
河川名	前提となる降雨の規模(想定最大規模)	作成年月	家屋倒壊等氾濫想定区域
遠賀川水系彦山川	日の出橋上流域の12時間の総雨量592mm	平成28年5月	○
今川水系今川	今川流域の24時間の総雨量958mm	平成30年4月	○
遠賀川水系彦山川、深倉川	彦山川流域の24時間の総雨量720mm	令和4年5月	
遠賀川水系中元寺川	中元寺川流域の6時間の総雨量524mm		
遠賀川水系櫛毛川	櫛毛川流域の24時間の総雨量972mm		
遠賀川水系不動川、畑谷川	不動川流域、畑谷川流域の24時間の総雨量720mm		
遠賀川水系木浦川	木浦川流域の24時間の総雨量972mm	令和5年5月	
今川水系今川(ダム上流)	今川(ダム上流)流域の24時間の総雨量958mm		

家屋倒壊等氾濫想定区域(早期の立退き避難が必要な区域)

想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が予想される区域を洪水・土砂災害ハザードマップに示しています。

はんらんりゅう
「氾濫流」による家屋倒壊等

堤防の決壊等に伴う激しい流れによる木造家屋の流失、倒壊を想定しています。



かがんしんしょく
「河岸侵食」による家屋倒壊等

激しい川の流れにより堤防や家屋の基礎を支える地盤が削られることによる家屋の流失、倒壊を想定しています。



雨の降り方と強さ

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる	傘は全く役に立たなくなる	特に、土砂災害警戒区域等や浸水想定区域にお住まいの人は、避難情報を確認し、早めに避難行動をとってください。	
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる			

※今いる場所で雨が降っていなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

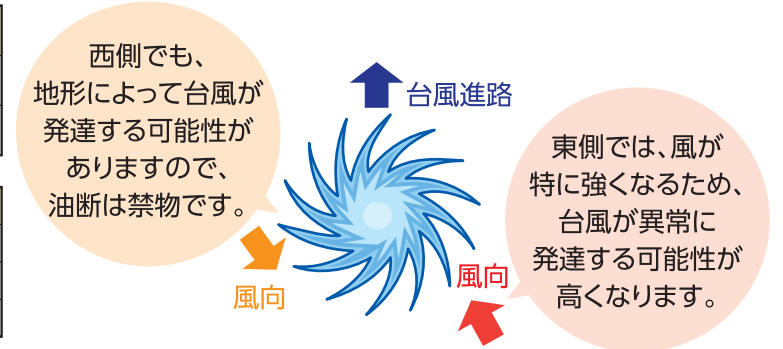
台風の特徴

台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。

台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

大きさの階級分け	階級	風速15m/s以上の半径
	大型(大きい)	500km以上800km未満
	超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け	階級	最大風速
	強い	33m/s以上44m/s未満
	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
	猛烈な	54m/s以上



土砂災害警戒情報(警戒レベル4相当)

大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表します。

土砂災害警戒情報が発表されたら

- 洪水・土砂災害ハザードマップや土砂キックルで自宅周辺の危険度を確認しましょう。
- 添田町が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の状況や雨の降り方に注意し、危険を感じたらすぐに避難しましょう。

福岡管区
気象台



土砂災害防止法について

福岡県では、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、**危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。**

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

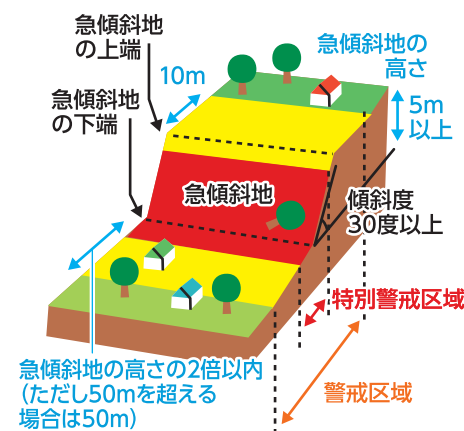
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、**特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。**

※指定区域の詳細内容については、福岡県ホームページまたは添田町役場でご確認ください。

土砂災害の種類とその前兆現象

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

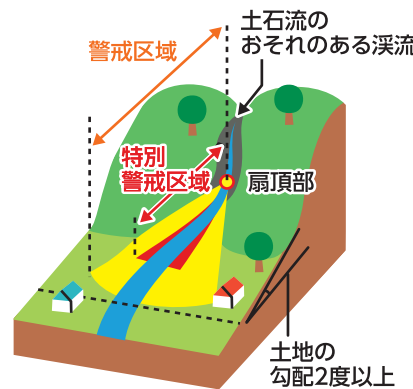


前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

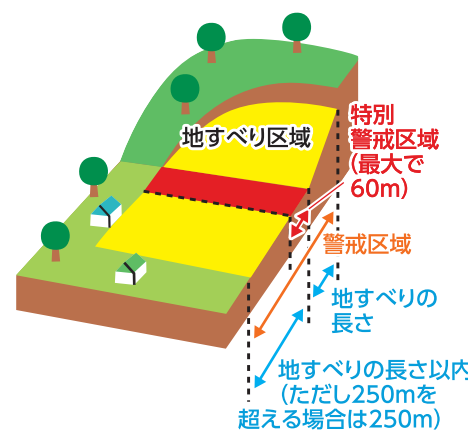


前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の水が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。

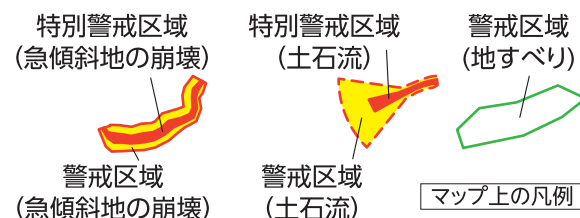


前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

土砂災害警戒区域等

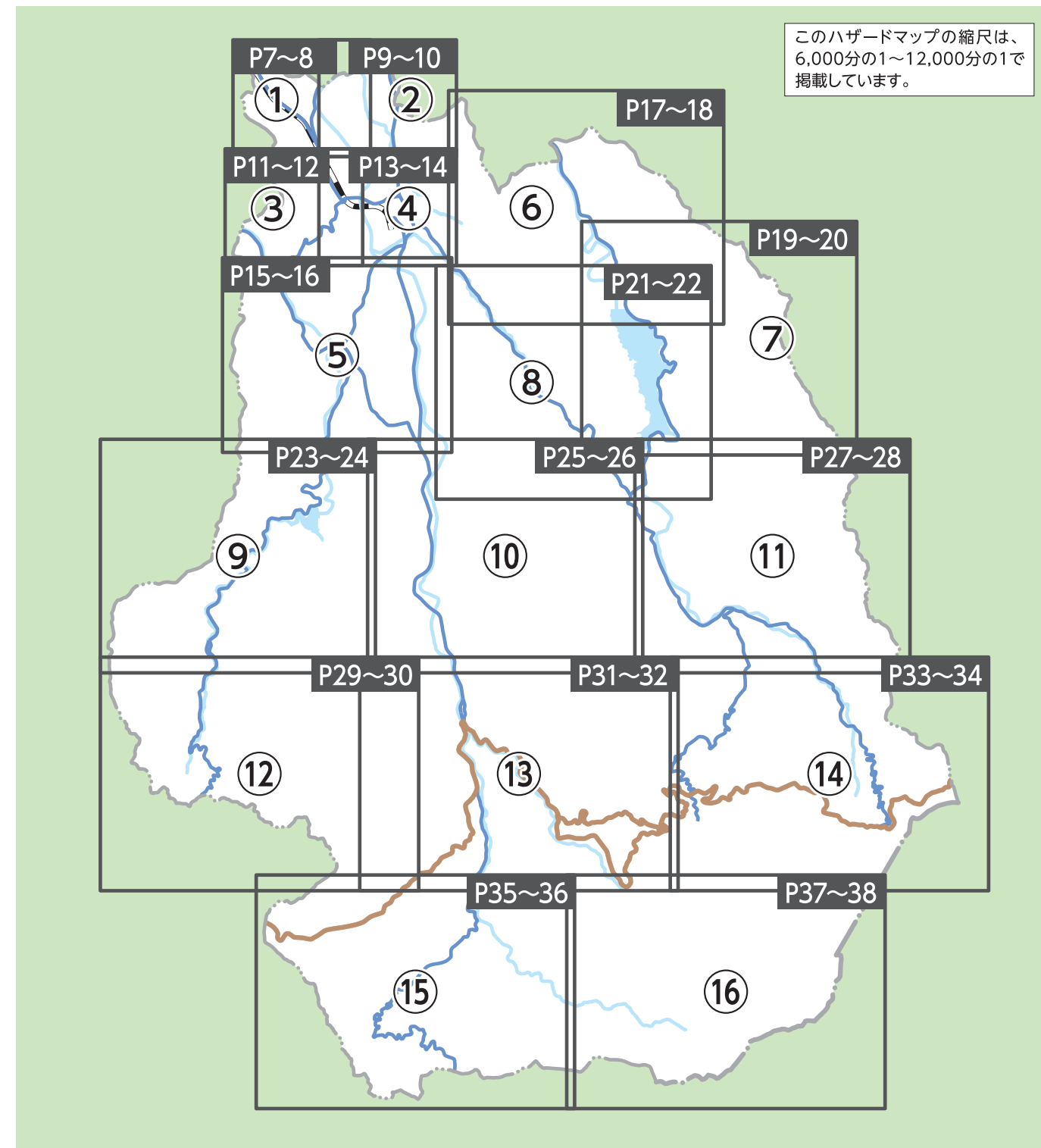
福岡県が令和7年2月現在で告示している、「急傾斜地の崩壊」「土石流」「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を洪水・土砂災害ハザードマップに示しています。福岡県では、土砂災害警戒区域等の新たな指定に向けた調査箇所を公表しています。



福岡県
砂防課



洪水・土砂災害ハザードマップ索引図

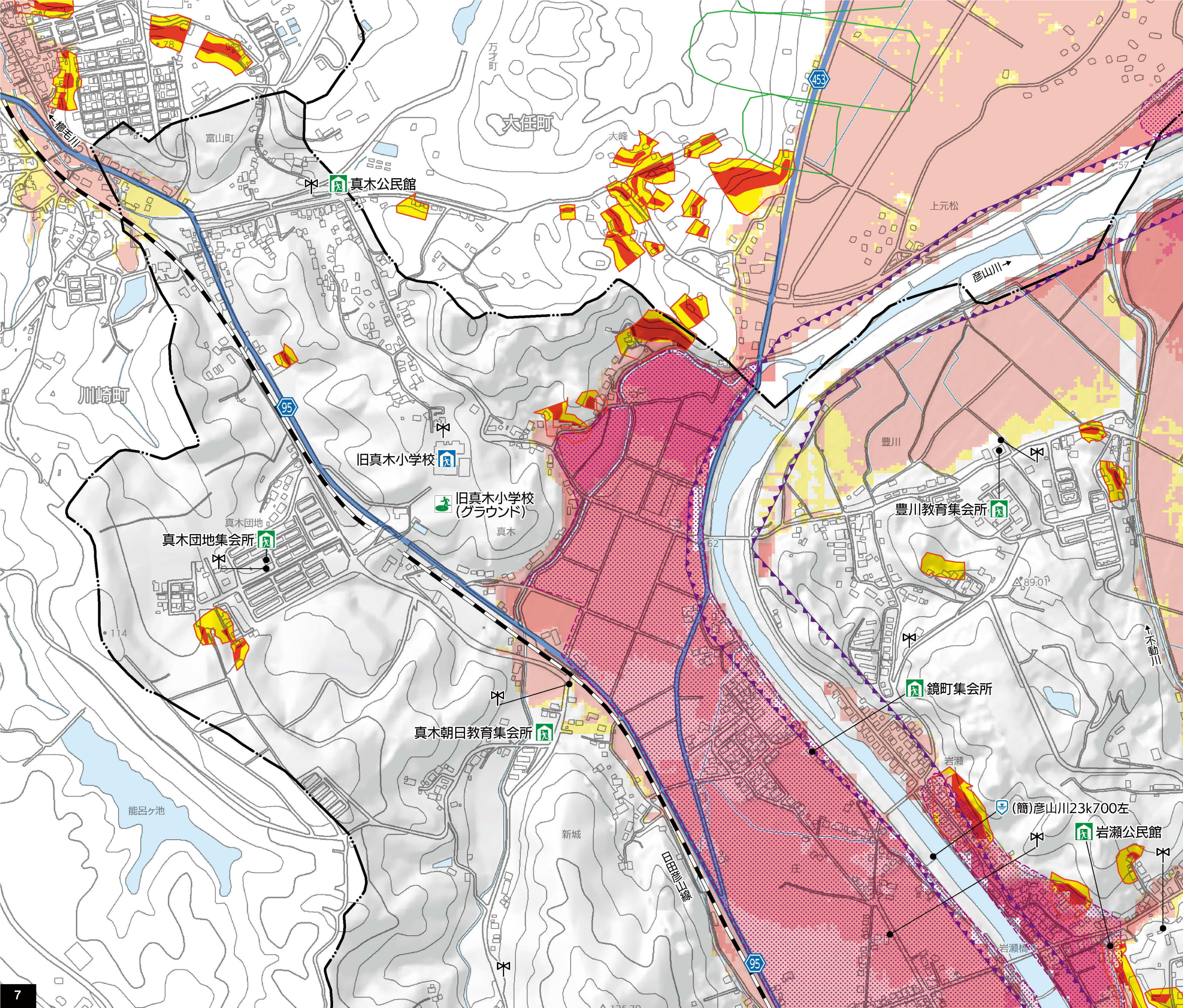


ため池ハザードマップ

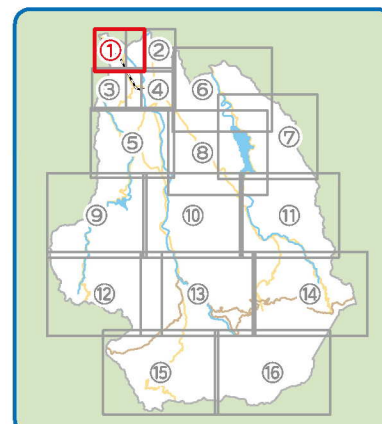
ため池ハザードマップは、町内の防災重点農業用ため池が地震などで決壊した場合の「浸水する範囲（浸水域）」と「浸水する深さ（浸水深）」を示しています。洪水・土砂災害ハザードマップとあわせてため池ハザードマップも確認してください。

添田町
役場





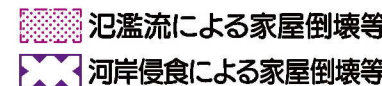
洪水・土砂災害 ハザードマップ ①



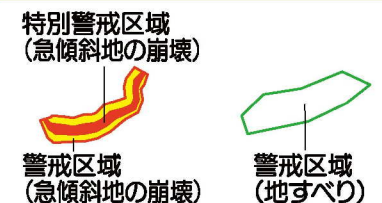
洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域等



防災関連情報

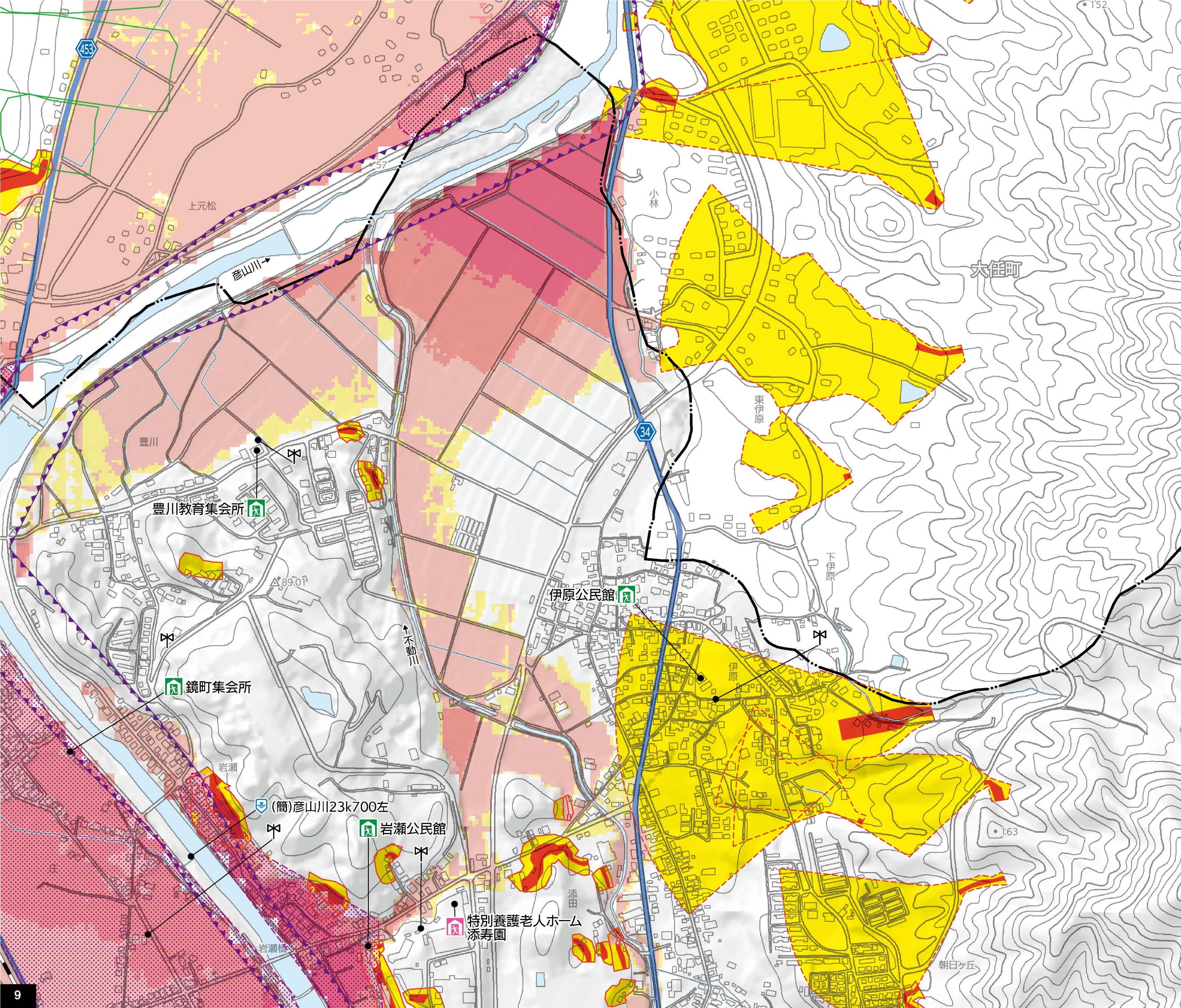
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 指定一般避難所 (学校施設等収容避難所)
- 避難場所 (グラウンド・駐車場)
- 水位観測所
- 屋外拡声子局
- 市町村境
- 県道
- JR



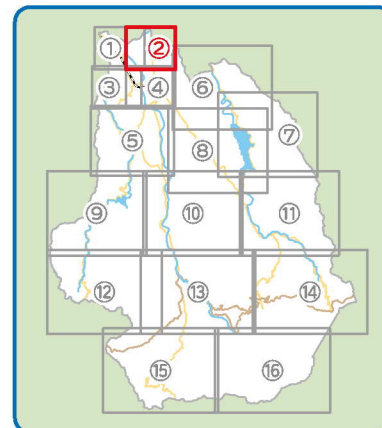
災害を知る

リスクを知る

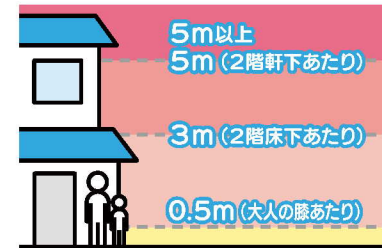
対応を知る



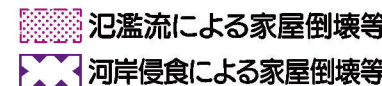
洪水・土砂災害 ハザードマップ ②



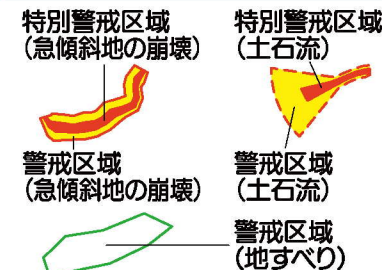
洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域等



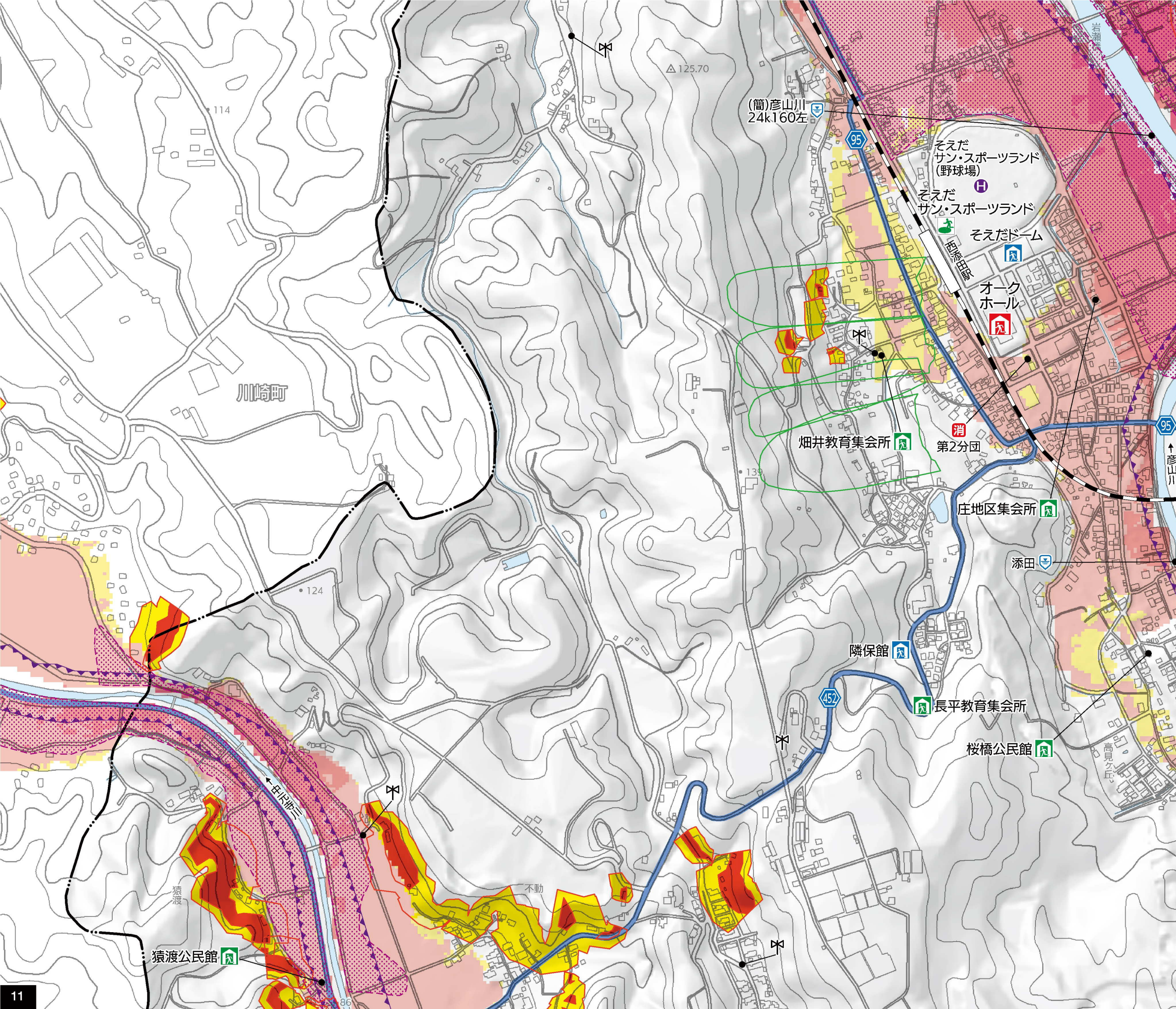
防災関連情報



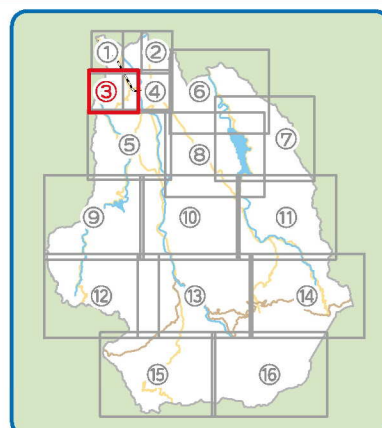
災害を知る

リスクを知る

対応を知る



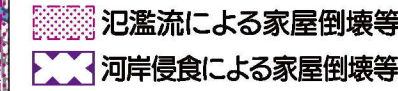
洪水・土砂災害 ハザードマップ ③



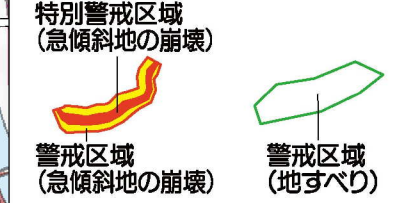
洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域等



防災関連情報

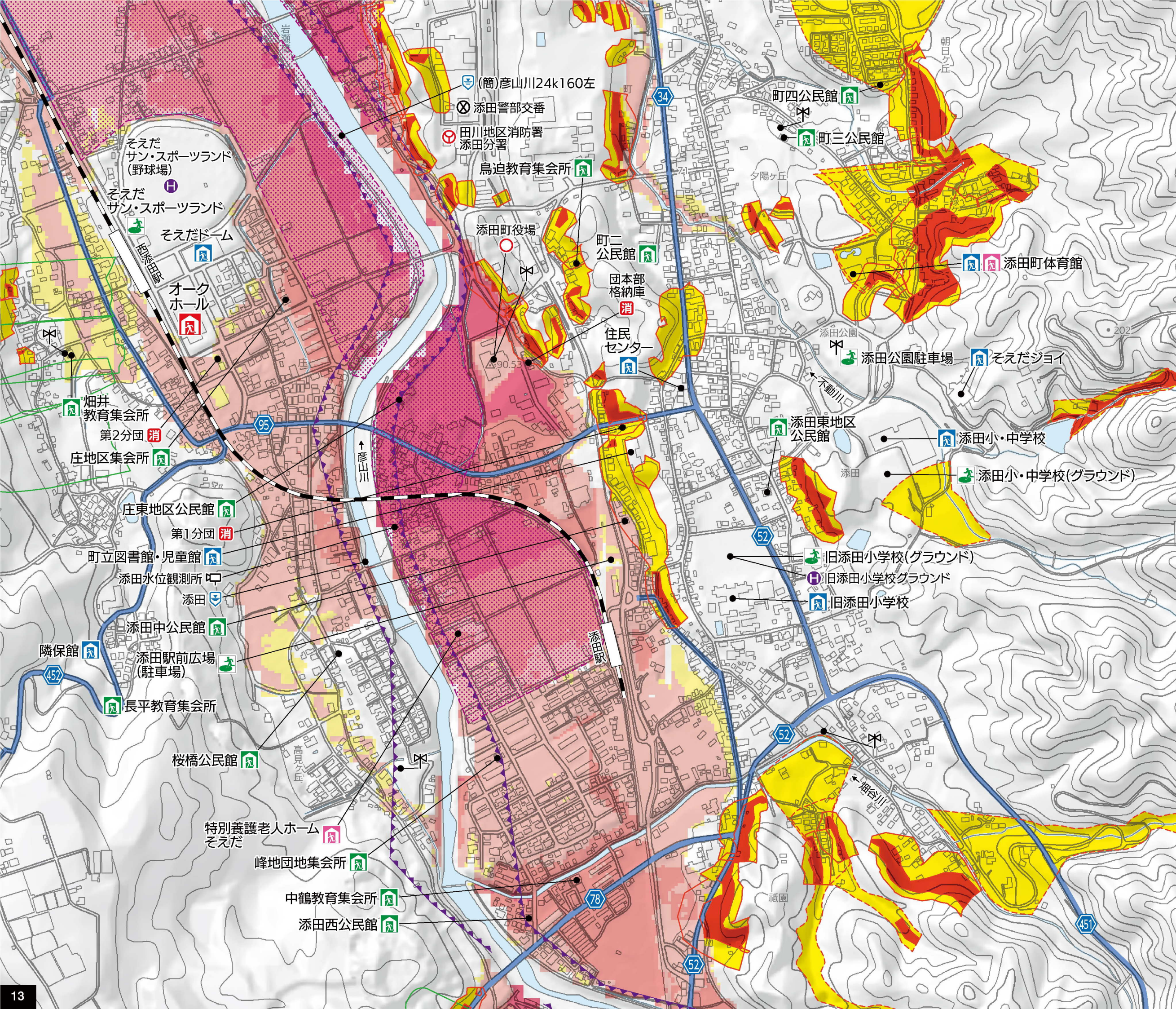
- 指定緊急避難場所 (指定緊急避難場所)
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 指定一般避難所 (学校施設等収容避難所)
- 避難場所 (グラウンド・駐車場)
- 水位観測所
- 消防団格納庫
- 臨時ヘリポート
- 屋外拡声局
- 市町村境
- 県道
- JR



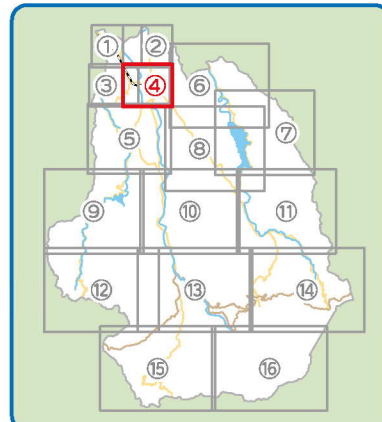
災害を知る

リスクを知る

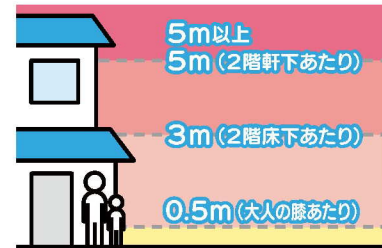
対応を知る



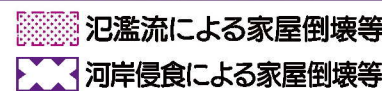
洪水・土砂災害 ハザードマップ ④



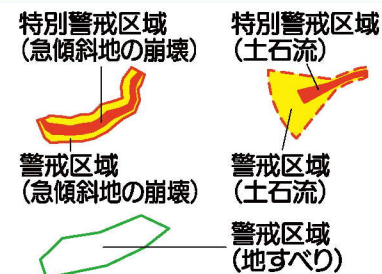
洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域等



防災関連情報

- 指定緊急避難場所 (Designated emergency evacuation site)
- 指定一般避難所 (指定避難所等自主運営避難所) (Designated general evacuation site (Designated evacuation site etc. self-managed evacuation site))
- 指定一般避難所 (指定避難所等収容避難所) (Designated general evacuation site (Designated evacuation site etc. reception evacuation site))
- 指定福祉避難所 (Designated welfare evacuation site)
- 避難場所 (グラウンド・駐車場) (Evacuation site (Ground・Parking lot))
- 町役場 (Town hall)
- 消防署 (Fire station)
- 交番 (Police box)
- 水位観測所 (Water level observation station)
- 河川カメラ (River camera)
- 消防団格納庫 (Fire brigade storage shed)
- 臨時ヘリポート (Temporary heliport)
- 屋外拡声局 (Outdoor loudspeaker station)
- 県道 (Prefectural road)
- JR (JR)

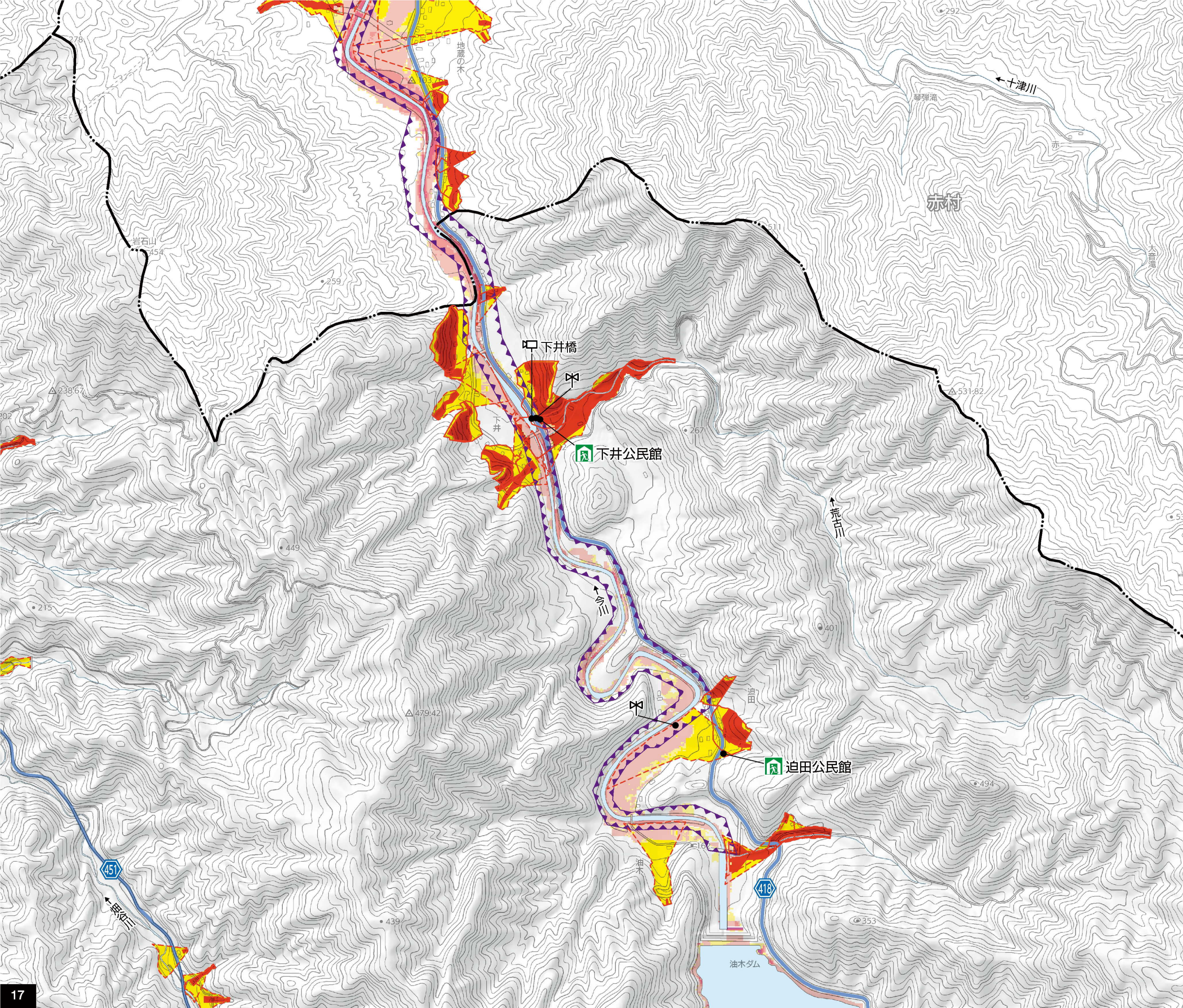


災害を知る

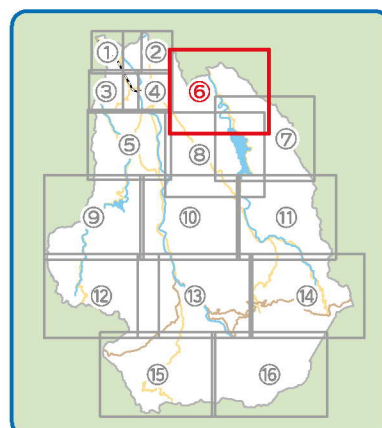
リスクを知る

対応を知る

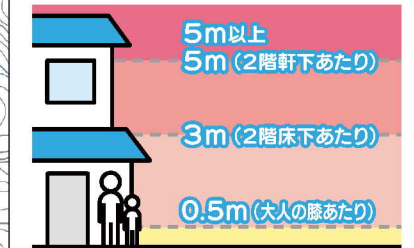




洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑥



洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食による家屋倒壊等

土砂災害警戒区域等



防災関連情報

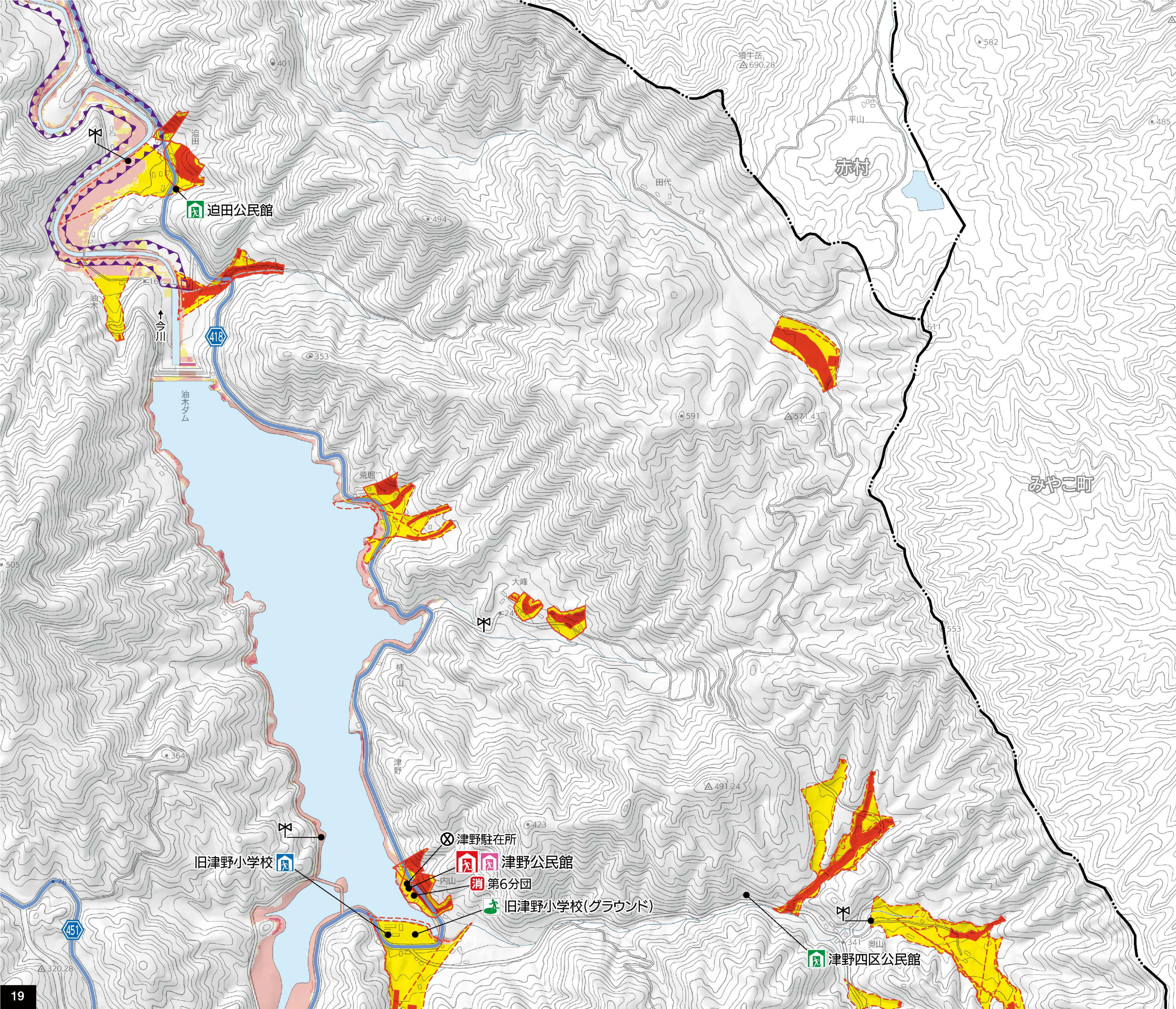
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 河川カメラ
- 屋外拡声子局
- 市町村境
- 県道



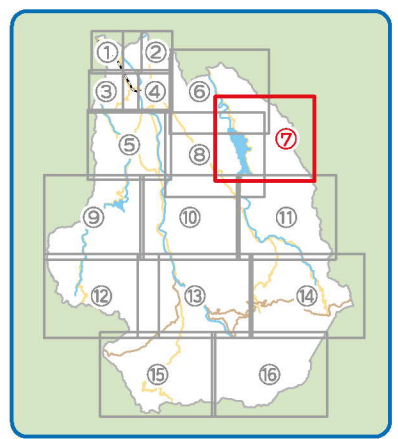
災害を知る

リスクを知る

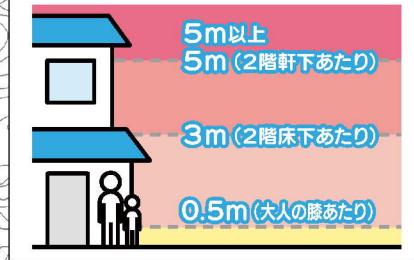
対応を知る



洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑦



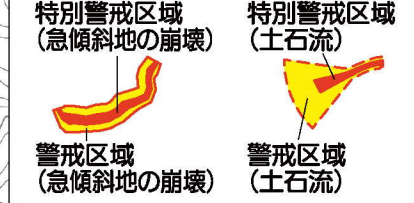
洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

✕ 河岸侵食による家屋倒壊等

土砂災害警戒区域等



防災関連情報

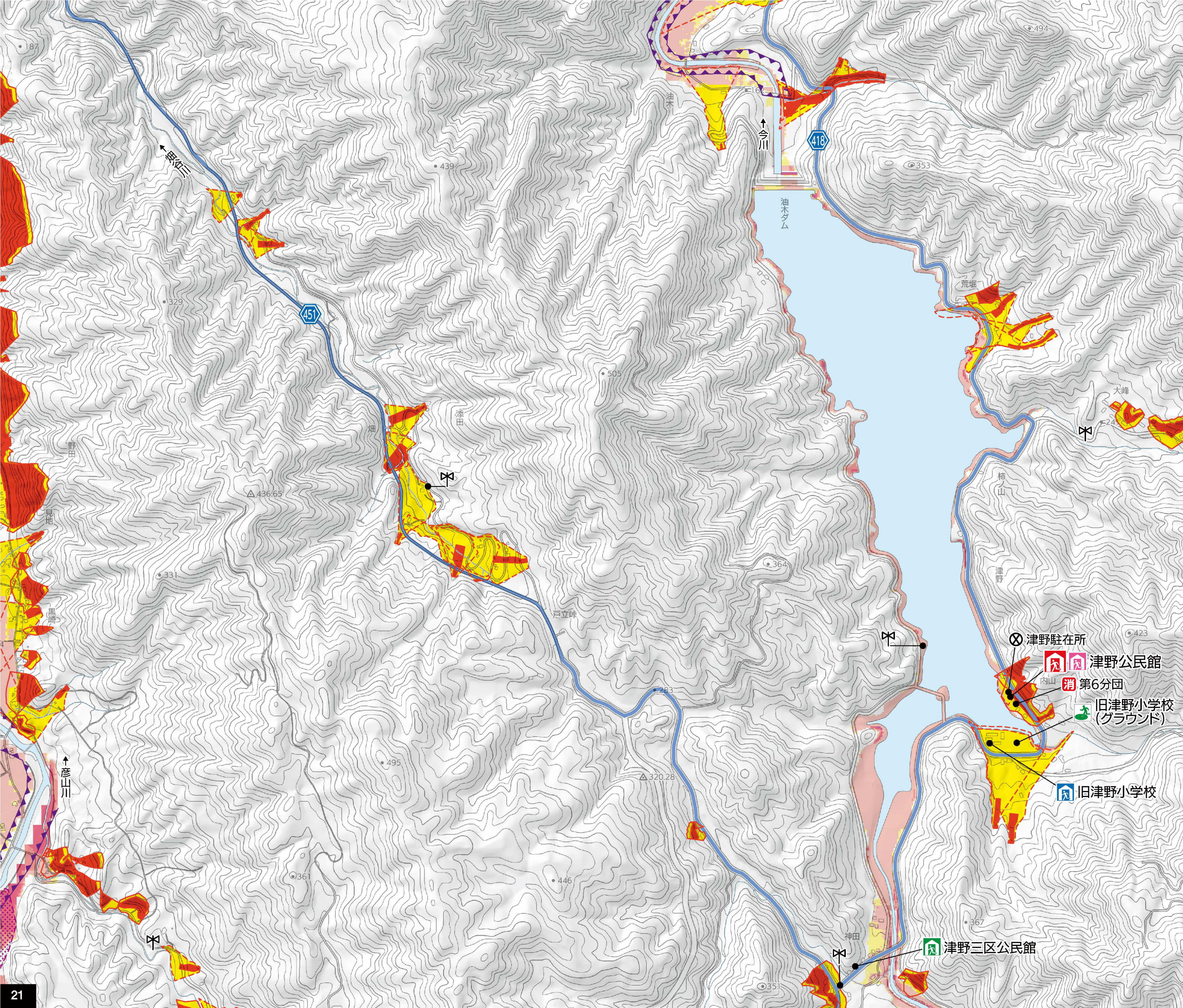
- 指定緊急避難場所
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 指定一般避難所 (学校施設等収容避難所)
- 指定福祉避難所
- 避難場所 (グラウンド・駐車場)
- 駐在所
- 消防団格納庫
- 屋外拡声子局
- 市町村境
- 県道



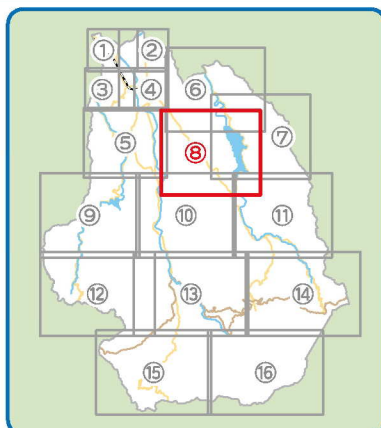
災害を知る

リスクを知る

対応を知る



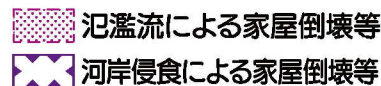
洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑧



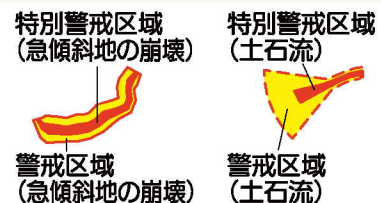
洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域

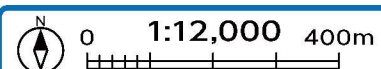


土砂災害警戒区域等



防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 指定一般避難所 (学校施設等収容避難所)
- 指定福祉避難所
- 避難場所 (グラウンド・駐車場)
- 駐在所
- 消防団格納庫
- 屋外拡声子局
- 県道

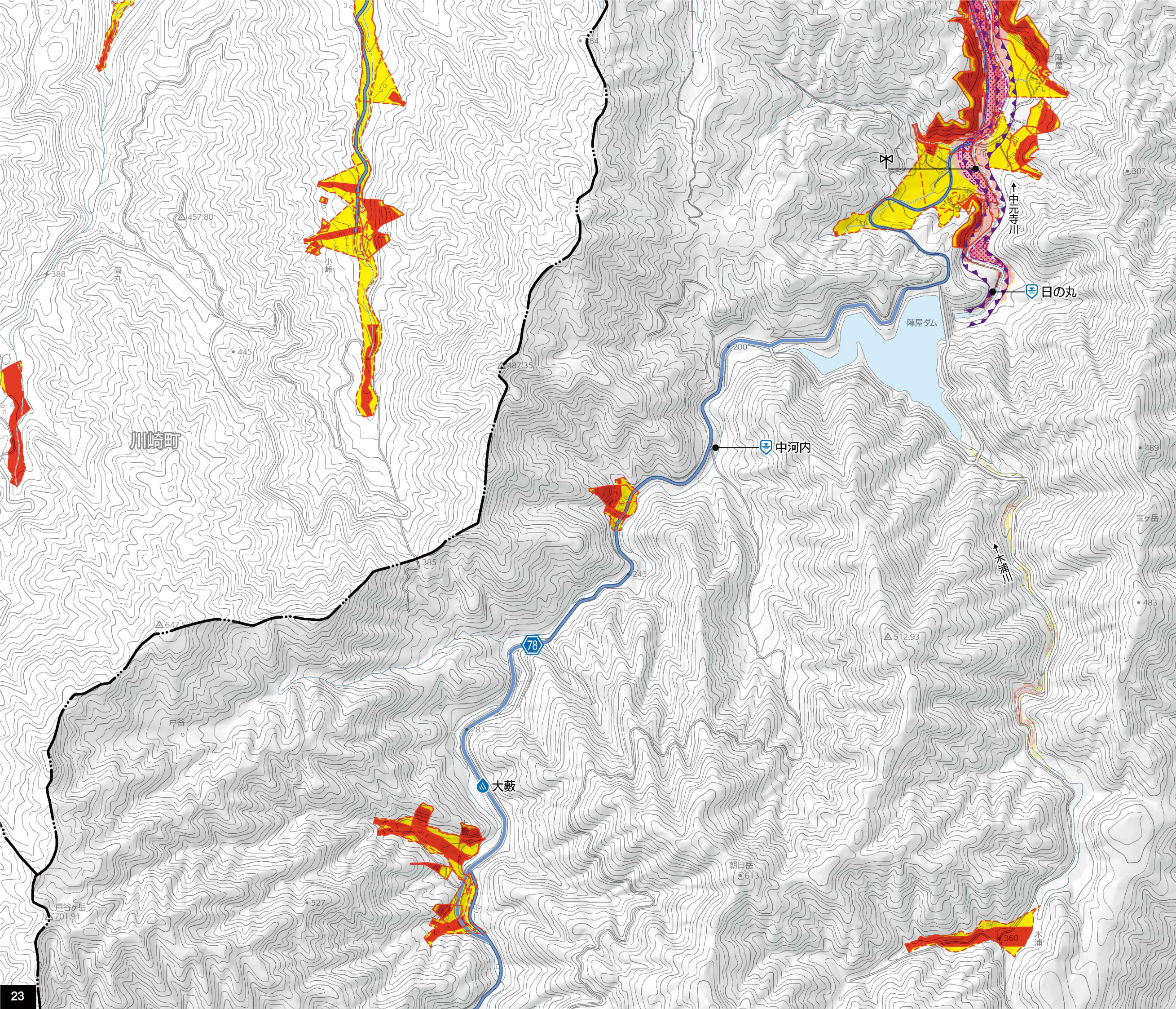


測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 6JHs 495

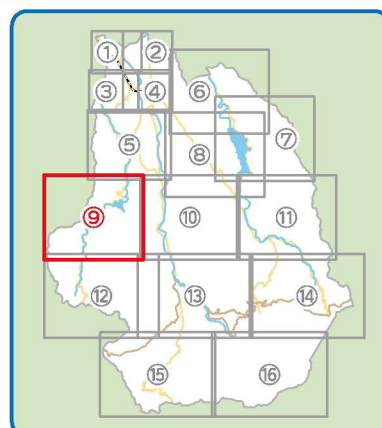
災害を知る

リスクを知る

対応を知る



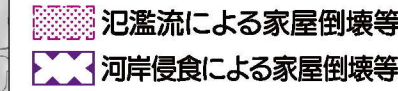
洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑨



洪水浸水想定区域



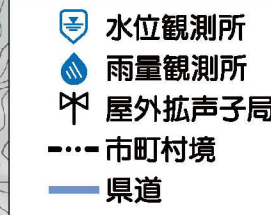
家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域等



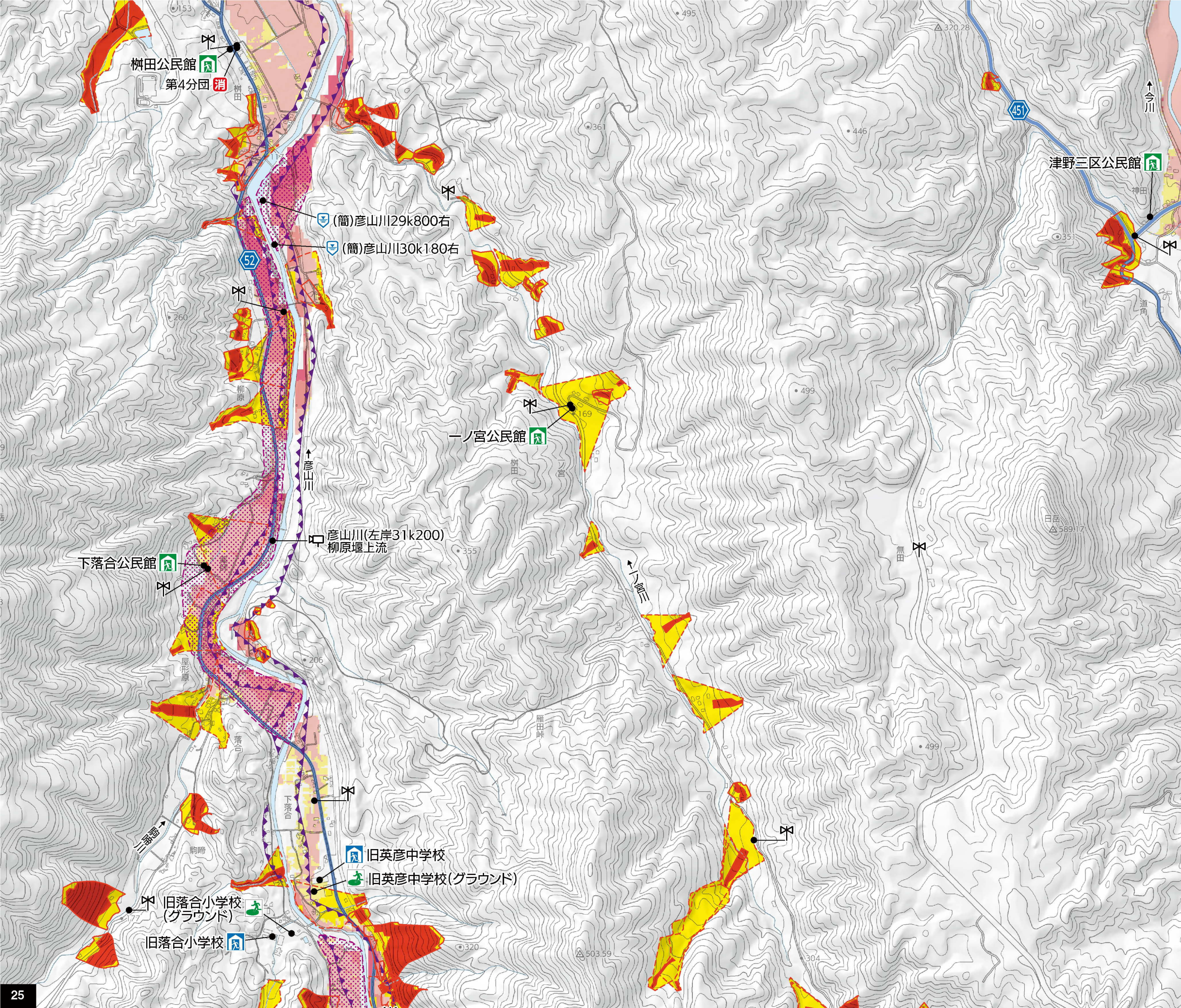
防災関連情報



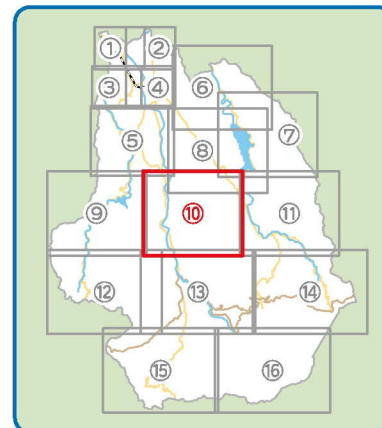
災害を知る

リスクを知る

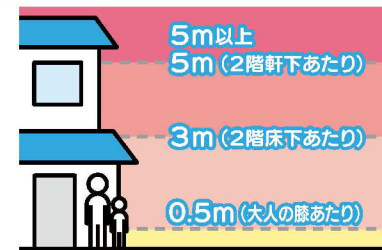
対応を知る



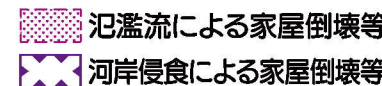
洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑩



洪水浸水想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域



土砂災害警戒区域等



防災関連情報

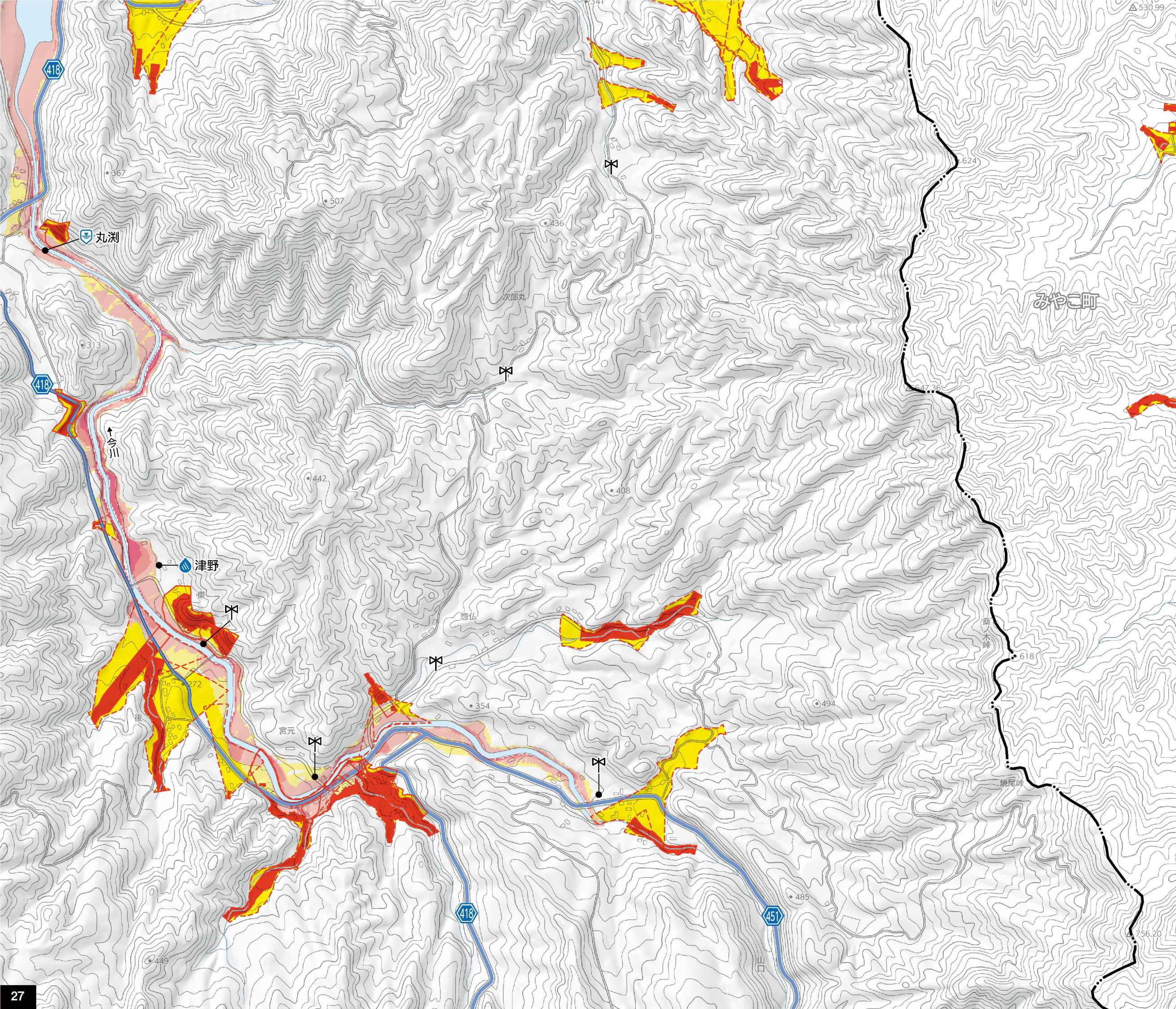
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 指定一般避難所 (学校施設等収容避難所)
- 避難場所 (グラウンド・駐車場)
- 水位観測所
- 河川カメラ
- 消防団格納庫
- 屋外拡声子局
- 県道



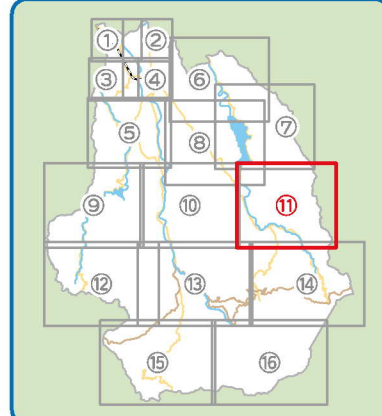
災害を知る

リスクを知る

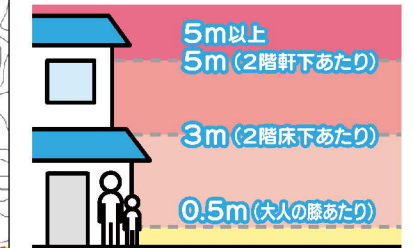
対応を知る



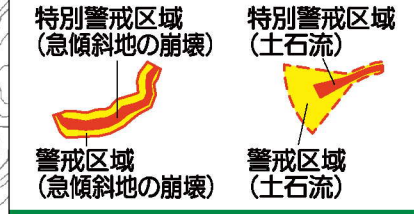
洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑪



洪水浸水想定区域



土砂災害警戒区域等



防災関連情報

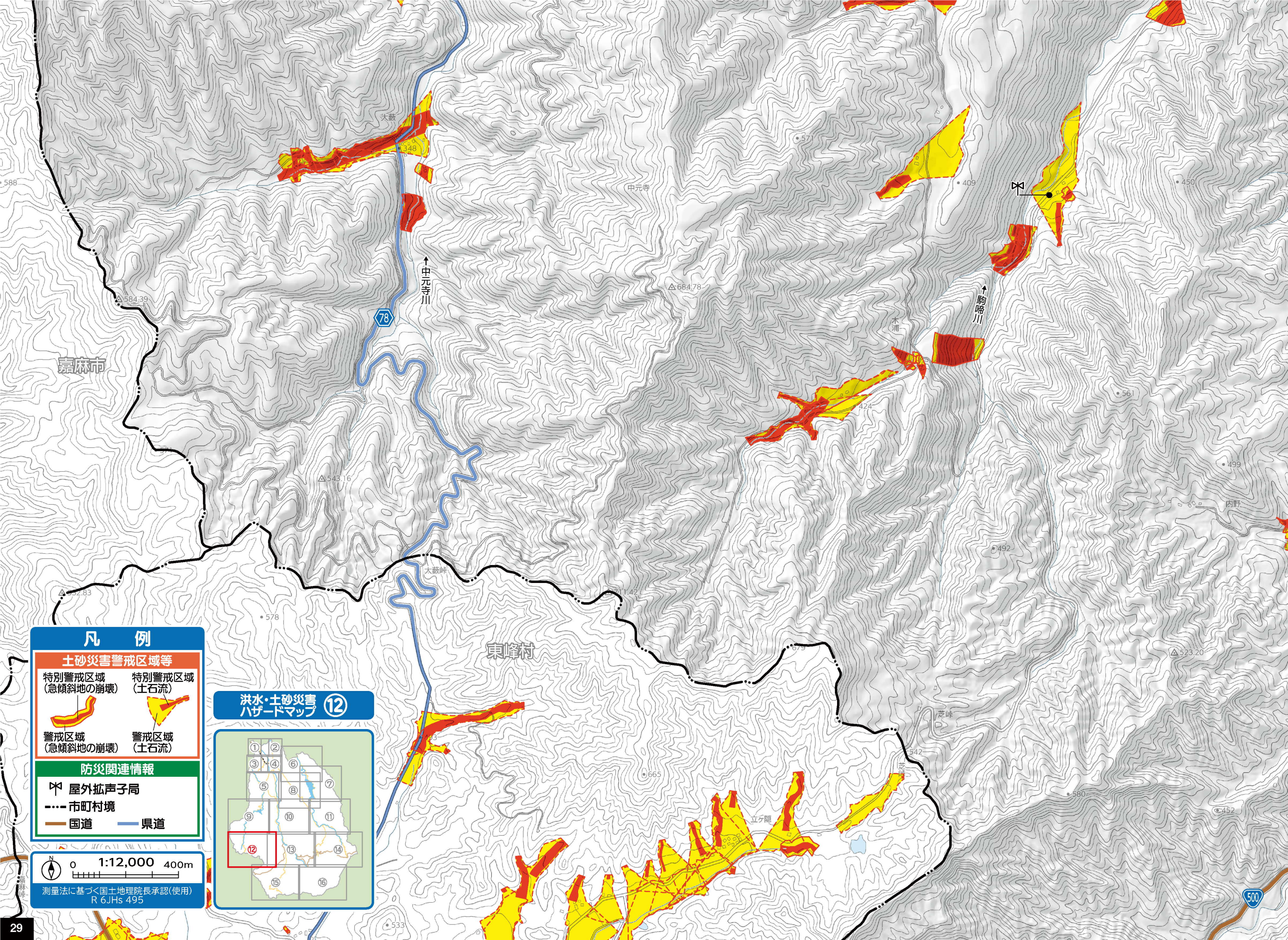
- 水位観測所 (Water Level Observation Point)
- 雨量観測所 (Rainfall Observation Point)
- 屋外拡声局 (Outdoor Loudspeaker)
- 市町村境 (Municipal Boundary)
- 県道 (Prefectural Road)



災害を知る

リスクを知る

対応を知る



凡 例

土砂災害警戒区域等

特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊) 特別警戒区域 (土石流)

警戒区域 (急傾斜地の崩壊) 警戒区域 (土石流)

防災関連情報

☒ 屋外拡声子局

--- 市町村境

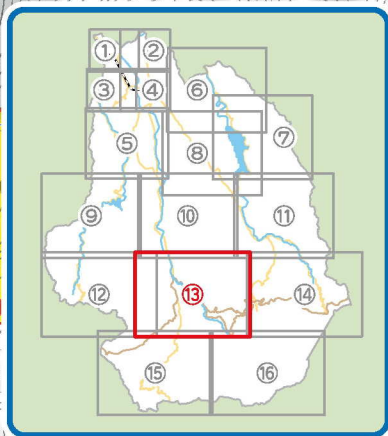
— 国道 — 県道

0 1:12,000 400m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 6JHs 495

**洪水・土砂災害
ハザードマップ ⑫**

洪水・土砂災害 ハザードマップ ⑬



凡 例

洪水浸水想定区域

- 5m以上
5m (2階軒下あたり)
- 3m (2階床下あたり)
- 0.5m (大人の膝あたり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 氾濫流による家屋倒壊等
- 河岸侵食による家屋倒壊等

土砂災害警戒区域等

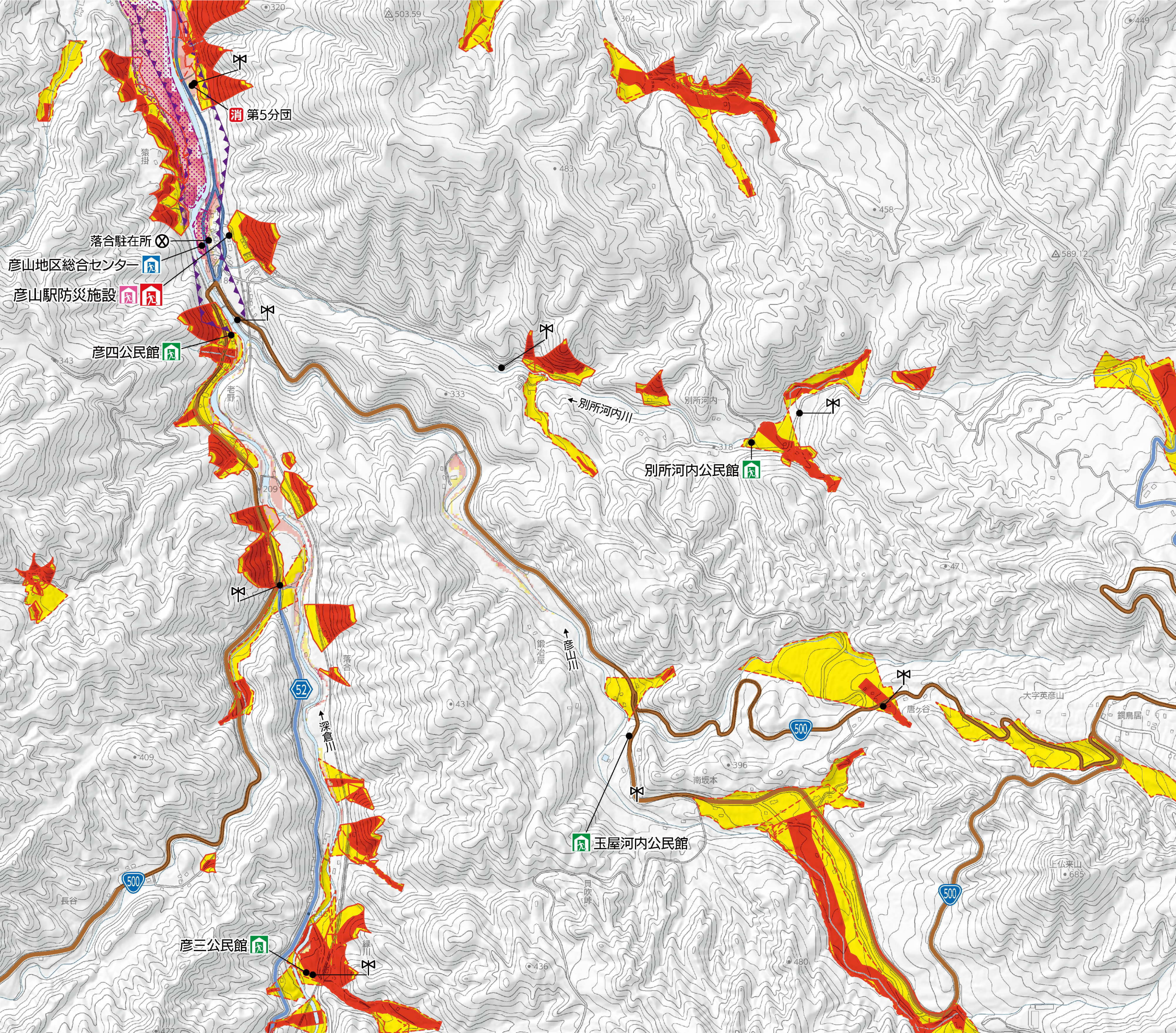
- 特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 特別警戒区域 (土石流)
- 警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域 (土石流)

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定一般避難所 (公民館・集会所等自主運営避難所)
- 指定一般避難所 (学校施設等収容避難所)
- 指定福祉避難所
- 駐在所
- 消防団格納庫
- 屋外拡声子局
- 国道
- 県道

0 1:12,000 400m

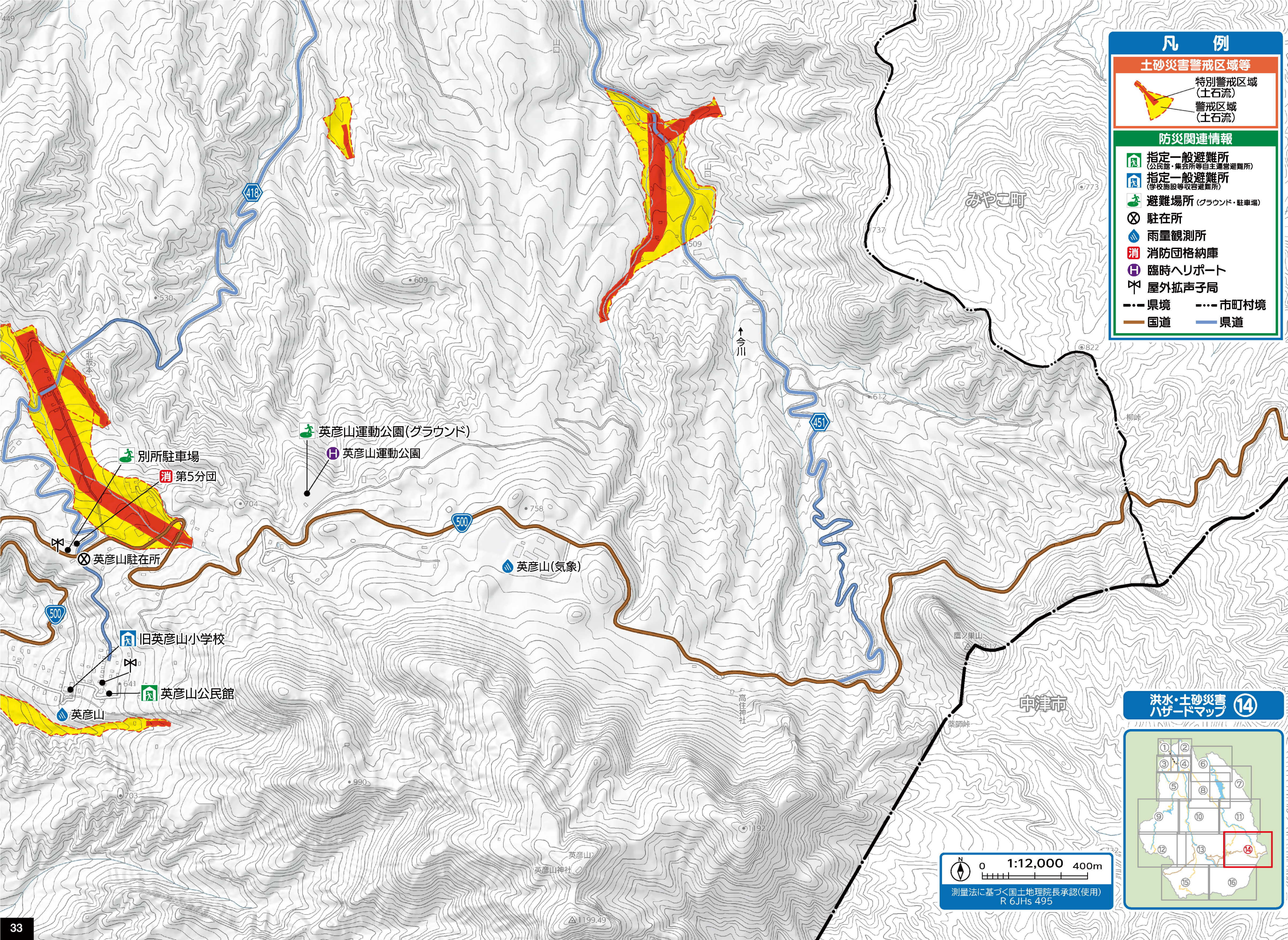
測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 6JHs 495



災害を知る

リスクを知る

対応を知る



凡例

土砂災害警戒区域等

特別警戒区域
(土石流)

警戒区域
(土石流)

防災関連情報

指定一般避難所
(公民館・集会所等自主運営避難所)

指定一般避難所
(学校施設等収容避難所)

避難場所 (グラウンド・駐車場)

駐在所

雨量観測所

消防団格納庫

臨時ヘリポート

屋外拡声子局

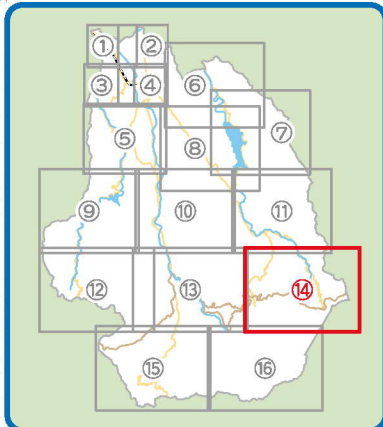
県境

市町村境

国道

県道

洪水・土砂災害
ハザードマップ ⑭



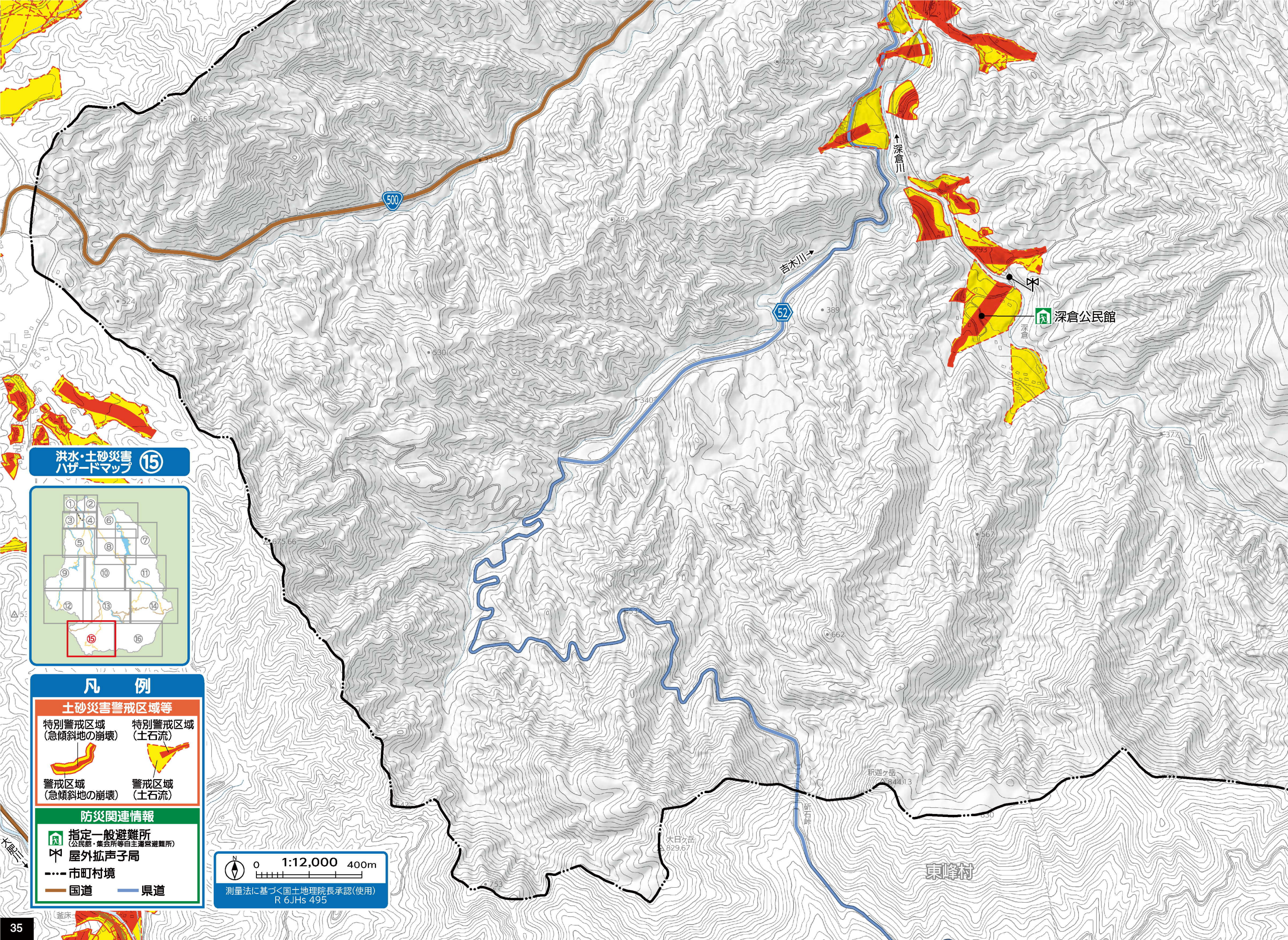
0 1:12,000 400m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 6JHs 495

災害を知る

リスクを知る

対応を知る

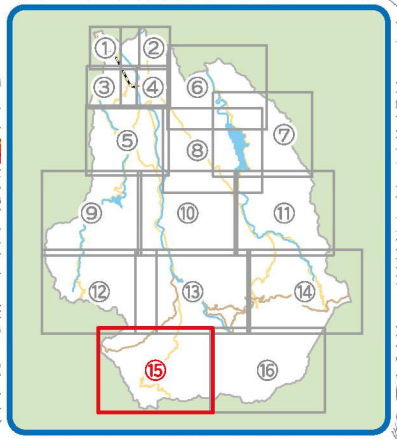


災害を知る

リスクを知る

対応を知る

洪水・土砂災害
ハザードマップ 15



凡 例

土砂災害警戒区域等

特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

特別警戒区域
(土石流)

警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

警戒区域
(土石流)

防災関連情報

指定一般避難所
(公民館・集会所等自主運営避難所)

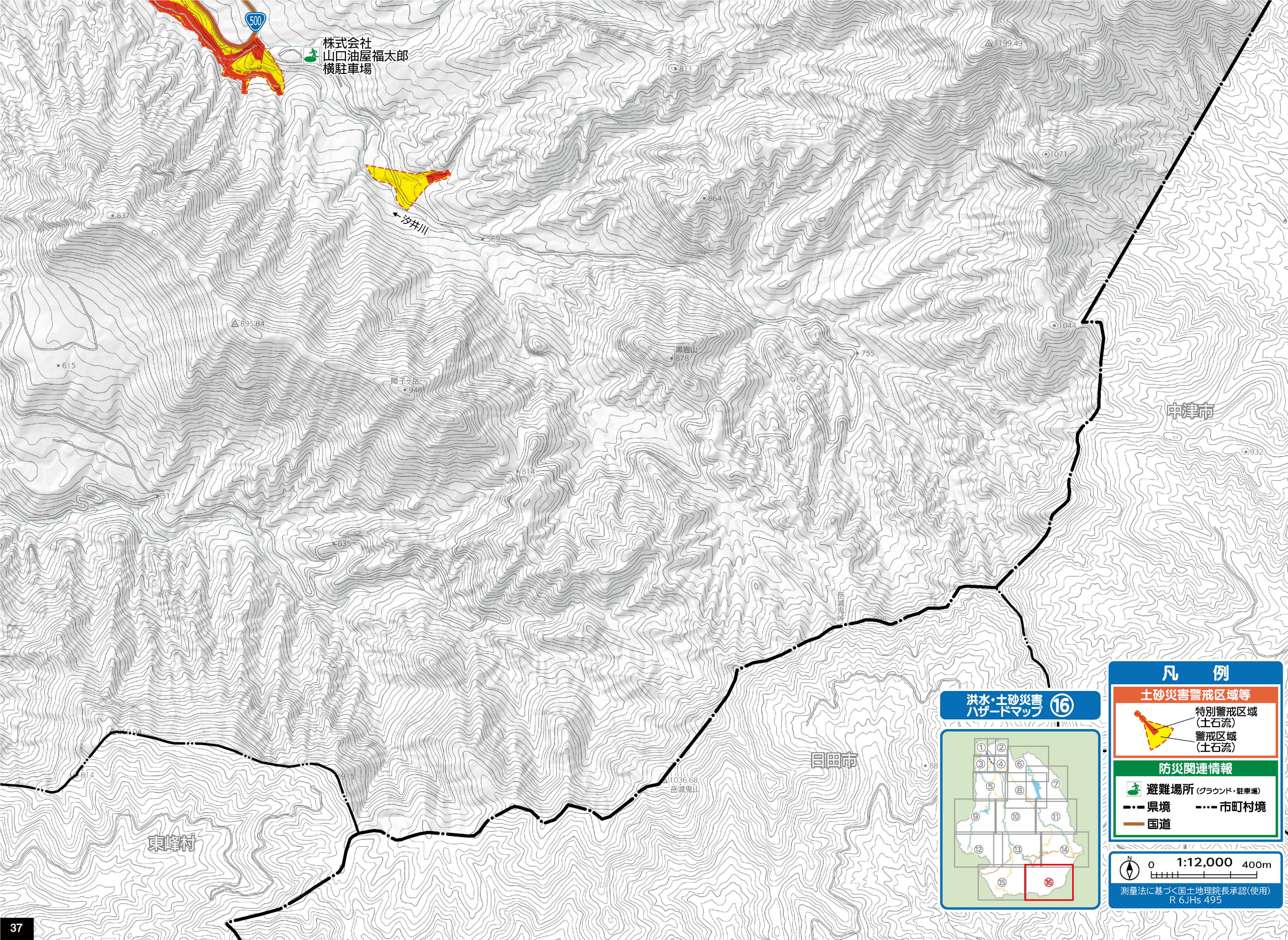
屋外拡声子局

市町村境

国道

県道



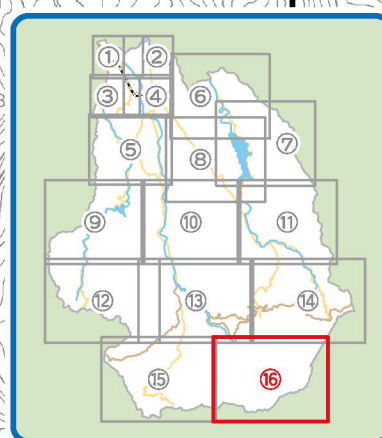


災害を知る

リスクを知る

対応を知る

洪水・土砂災害
ハザードマップ ①⑥



凡 例

土砂災害警戒区域等

- 特別警戒区域 (土石流)
- 警戒区域 (土石流)

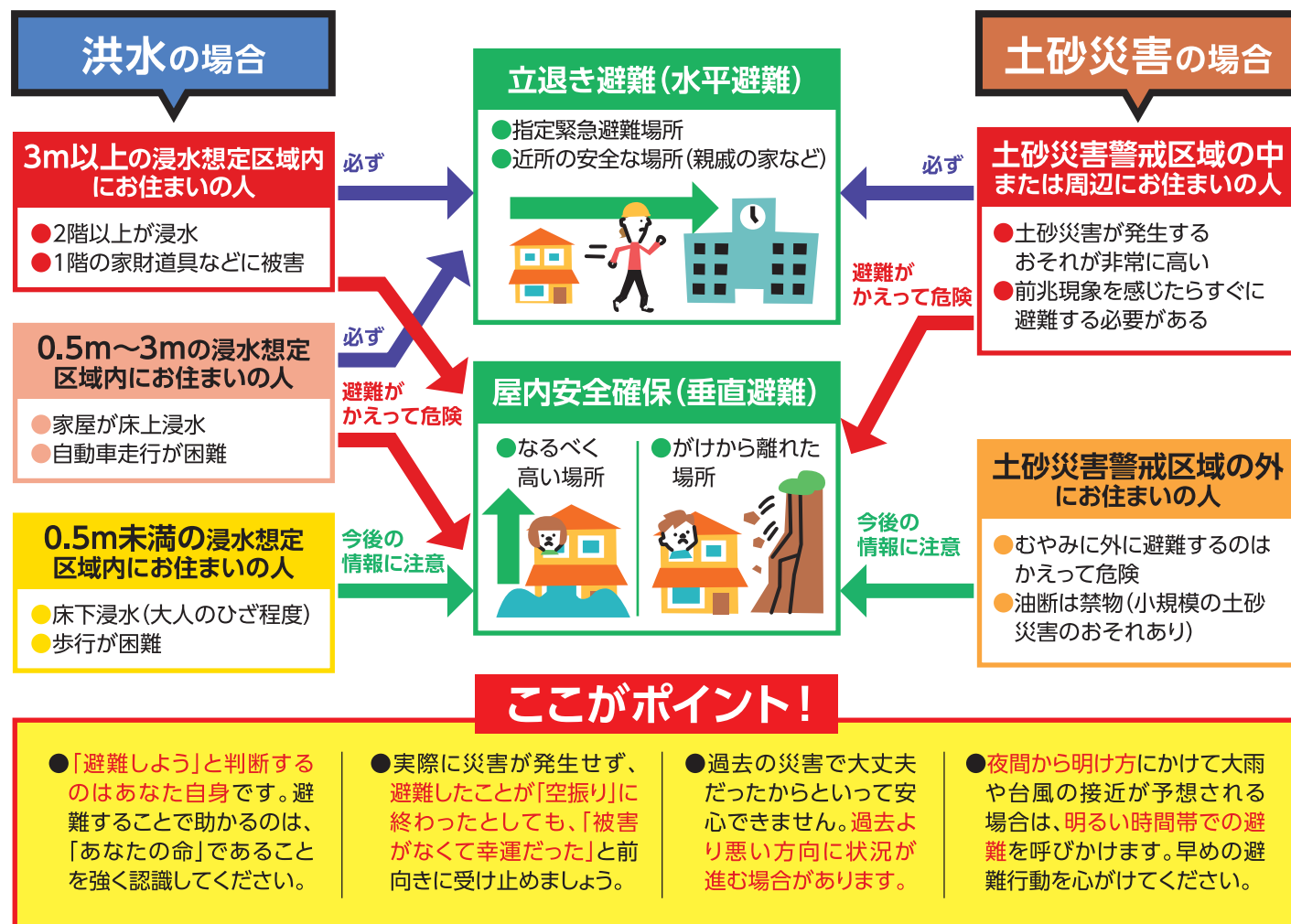
防災関連情報

- 避難場所 (グラウンド・駐車場)
- 県境
- 市町村境
- 国道

0 1:12,000 400m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 6JHs 495

とるべき避難行動



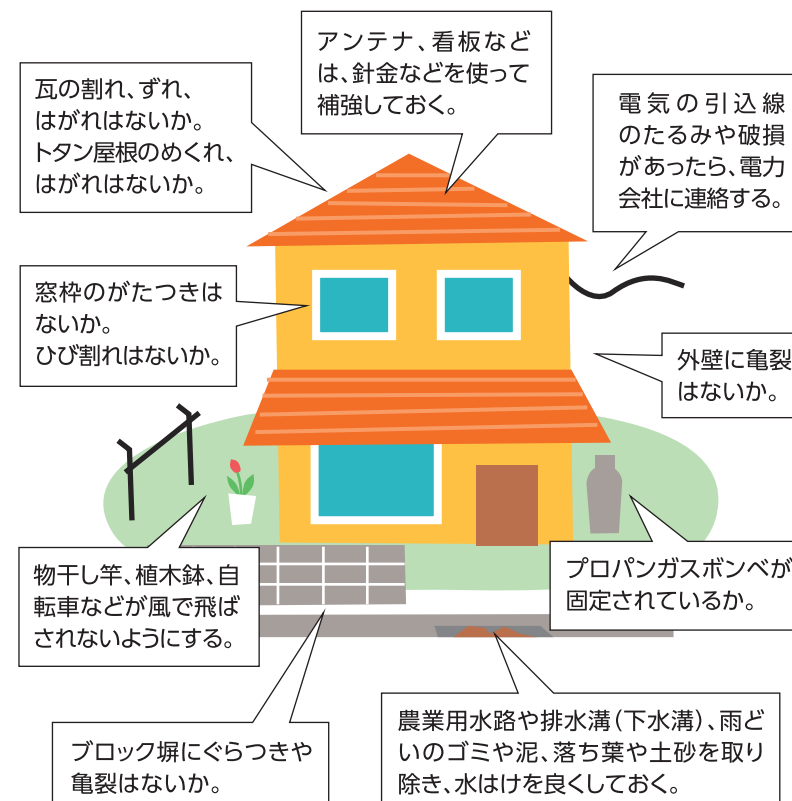
我が家の安全対策

安全と思われる家の中や家のまわりに置いてある物でも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- 重たい荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。
- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の外の安全対策



非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

チェック 非常持出品

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。あまり重いと避難に支障が出るので、必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

- ヘルメット・防災ずきん**
落下物から頭を守るための必需品

リュックサックなど
非常持出品を入れて両手が確保できるものがよい

貴重品
預金通帳、健康保険証、マイナンバーカード、免許証(番号を控えたメモかコピー)、現金

非常食
缶入り乾パンなど、火を通さず食べられるもの

携帯ラジオ ※予備の電池も必要
小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるものがよい

救急医薬品・常備薬
キズ薬、ばんそうこう、その他の薬など

水
持ち運びに便利なペットボトル入り

懐中電灯 ※予備の電池も必要
停電時や夜間の移動に欠かせない(できれば1人に1つ用意)

生活用品
衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、簡易トイレ、タオル、雨具など

チェック 非常備蓄品

被災後の数日間を乗り切るためのものです。最低でも3日間は自足できるだけの量を用意しておきましょう。

- 非常食**
缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの

生活用品
カセットコンロ・ガスボンベ、毛布、衣類、トイレトーパー、ドライシャンプー、ビニール袋など

水
飲料水と生活用水を用意する(飲料水は1人1日3リットルが目安)

工具類
家屋が倒壊した場合などに備えて、救出活動に使えるスコップやバール、のこぎり、ロープ、車のジャッキなど

家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。

ローリングストック法

保管している非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。

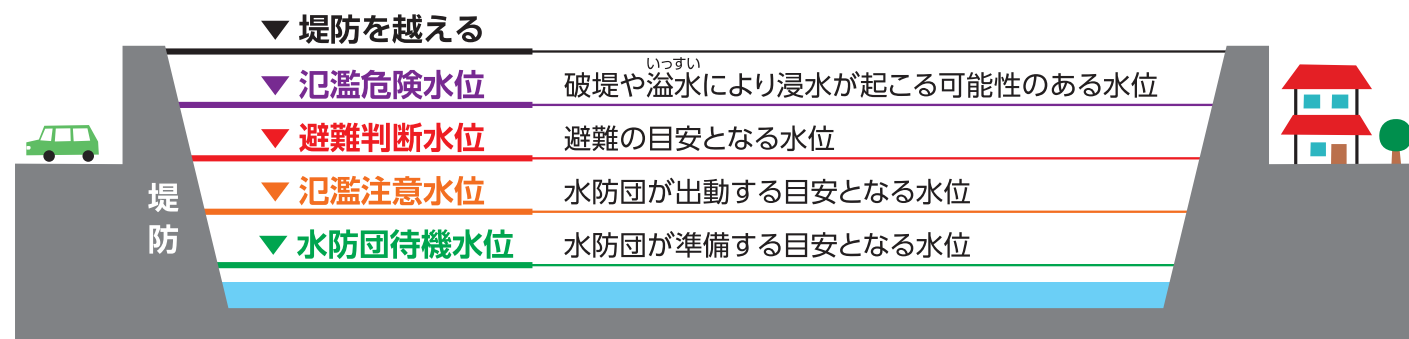


5段階の警戒レベル

警戒レベル	避難等の住民がとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保※ ※必ず発令される情報ではない 【町が発令】	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 など
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~			
警戒レベル4	速やかに避難場所へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	<b>避難指示</b> 【町が発令】	<b>警戒レベル4相当情報</b> 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル3	避難に時間を要する人(高齢者や障がいのある人、乳幼児など)とその支援者は避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	<b>高齢者等避難</b> 【町が発令】	<b>警戒レベル3相当情報</b> 氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報 など
警戒レベル2	災害に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しましょう。	<b>大雨注意報 洪水注意報 など</b> 【気象庁が発表】	これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。 国土交通省、気象庁、県が発表します。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> 【気象庁が発表】	

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

## 河川の基準水位



洪水・土砂災害ハザードマップに掲載している水位観測所や河川カメラの情報は、川の防災情報や福岡県総合防災情報で確認できます。

## アプリ・メールからの情報

### ふくおか防災ナビ・まもるくん

ふくおか防災ナビ・まもるくん 検索  
福岡県が発信するアプリで、さまざまな情報を確認できます。



### 緊急速報メール

気象庁が配信する情報、町が発信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。  
(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社Webサイトをご確認ください。)



## 添田町からの情報

### ●添田町役場ホームページ

町からの避難情報、避難所の開設状況などをお知らせします。



### ●添田町公式LINE @soeda



## インターネットからの情報

### 福岡県総合防災情報

福岡県 総合防災情報 検索



### ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)

気象庁 ナウキャスト 検索



### 国土交通省 川の防災情報

川の防災情報 検索



### 福岡管区气象台

福岡管区气象台 検索



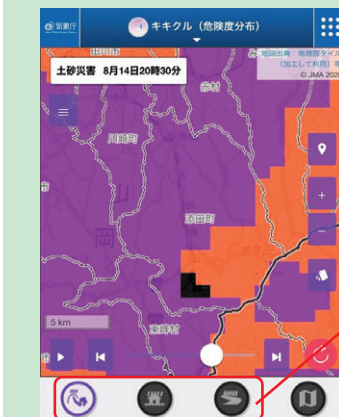
### キキクル(危険度分布)

気象庁 キキクル 検索



大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度の高まりを地図上で確認できます。危険度は、5段階の色で表現しています。

- 災害切迫
- 危険
- 警戒
- 注意
- 今後の情報等に留意



地図下部のマークから、切り替えることができます。

- 土砂キキクル
- 浸水キキクル
- 洪水キキクル

## テレビからの情報

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの『d』ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。  
NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。





## 避難のポイント（全般）

### ●一人暮らしの高齢者などには気配りを

近所に一人暮らしの高齢者や病気の人がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。



### ●速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。



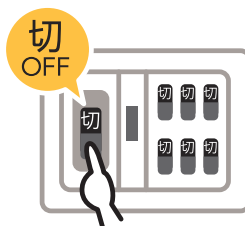
### ●災害用伝言板・SNSで連絡する

電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。



### ●避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



### ●車での避難は控えて

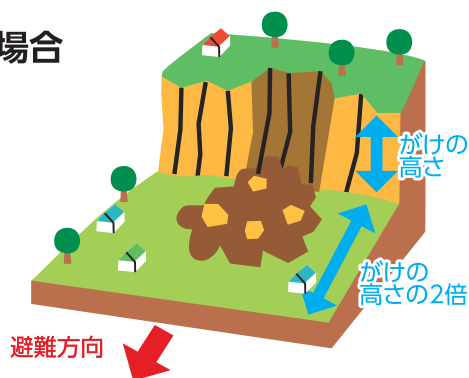
車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。



## 避難のポイント（土砂災害編）

### ●がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



### ●土石流のおそれがある場合

溪流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。また土石流が曲がる箇所では、かなり高い位置まで土石流がかけ上がるので、曲がりの外側のほうが内側より危険性が高くなります。



### ●屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等（イエローゾーン・レッドゾーン）を通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

### ●屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。



### ●雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも、土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。

## 避難のポイント（洪水編）

長靴は水が入ると歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。



大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。



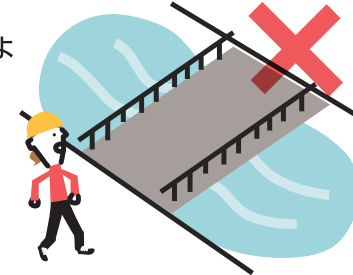
垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



橋を渡らないようにしましょう。



## 避難のポイント（要配慮者への配慮）

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域のみなさんの支援が必要です。隣近所等、地域で声を掛け合い、避難しましょう。

### ●目の不自由な人

- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。



### ●耳の不自由な人

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



### ●高齢者・病気の人

- 背負う（または担架、リヤカーなどを利用する）などして安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



### ●車いすを利用している人

- どのように介助したらいいか、本人に確認する。
- 階段では介助者2人以上が必要。
- 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。



災害危険区域内の要配慮者利用施設は、添田町地域防災計画に掲載しています。



## 避難の順序

災害が発生  
するおそれ  
又は災害発生

まずは！  
洪水・土砂災害時  
指定緊急避難場所  
地震時  
避難場所(グラウンド・駐車場)

### 一定期間の避難生活が必要な場合

指定一般避難所  
(学校施設等収容避難所)  
指定一般避難所  
(公民館・集会所等自主運営避難所)  
指定福祉避難所 ※状況を踏まえて開設

## 避難所一覧

災害時にどの避難所が開設しているかは、町が防災行政無線などから発信する情報をご確認ください。

○：洪水または土砂災害の危険区域から外れている施設 ×：洪水または土砂災害の危険区域内に位置している施設

### 指定緊急避難場所

災害発生時に命を守るため、緊急的に避難するための施設であり、町が避難情報の発令を行った際に最初に開設する避難所です。

名称	住所	洪水	土砂災害
津野公民館	津野6059	○	×
彦山駅防災施設	落合805-1	○	○

名称	住所	洪水	土砂災害
中元寺公民館	中元寺2465	○	○
オークホール	庄952	○	○

### 避難場所(グラウンド・駐車場)

グラウンドや駐車場など、地震時に一時的に避難する場所です。

名称	住所	洪水	土砂災害
旧津野小学校(グラウンド)	津野5929	○	×
英彦山運動公園(グラウンド)	英彦山1497-1	○	○
別所駐車場	英彦山1985-1	○	○
株式会社山口油屋福太郎横駐車場	英彦山1881-12	○	○
旧落合小学校(グラウンド)	落合1113	○	○
旧英彦中学校(グラウンド)	落合984	×	×
旧中元寺小学校(グラウンド)	中元寺2164	×	○

名称	住所	洪水	土砂災害
歓遊舎ひこさん(駐車場)	野田1113-1	×	○
旧添田小学校(グラウンド)	添田1333	○	○
添田小・中学校(グラウンド)	添田1605	○	×
添田公園駐車場	添田1573	○	○
添田駅前広場(駐車場)	添田1187-3	×	○
そえだサン・スポーツランド	庄933	○	○
旧真木小学校(グラウンド)	庄2414	○	○

### 指定一般避難所(学校施設等収容避難所)

災害により被災した人が大多数に上る場合、一定期間の避難生活を送るための施設です。

名称	住所	洪水	土砂災害
旧津野小学校	津野5929	○	×
旧英彦山小学校	英彦山1487	○	○
旧落合小学校	落合1113	○	○
旧英彦中学校	落合984	○	○
彦山地区総合センター	落合800-1	×	○
旧中元寺小学校	中元寺2164	×	×
旧添田小学校	添田1333	○	○
町立図書館・児童館	添田1202	○	×

名称	住所	洪水	土砂災害
住民センター	添田2060-1	○	○
添田町体育館	添田1594-1	○	×
添田小・中学校	添田1605	○	○
そえだジョイ	添田1573	○	○
そえだドーム	庄942-9	○	○
隣保館	庄415	○	○
旧真木小学校	庄2414-1	○	○

### 指定一般避難所(公民館・集会所等自主運営避難所)

災害により被災した人が一定期間の避難生活を送るための施設です。

災害発生時は、地域により任意で開設する事もできます。

名称	住所	洪水	土砂災害
津野三区公民館	津野3548-1	○	○
津野四区公民館	津野5778-1	○	○
迫田公民館	津野7155-5	○	×
下井公民館	津野7607-1	×	×
英彦山公民館	英彦山1401	○	○
玉屋河内公民館	落合565-2	○	○
別所河内公民館	落合353-1	○	×
深倉公民館	落合2279-4	○	×
彦三公民館	落合1752	○	×
彦四公民館	落合1306-9	○	×
下落合公民館	落合4255	×	○
榊田公民館	榊田1528-1	○	○
一ノ宮公民館	榊田845-2	○	×
旧三崎公民館	中元寺844	○	○
上中元寺公民館	中元寺1570-1	×	×
蛭子堂集会所	中元寺872-2	○	○
下中元寺公民館	中元寺3430	×	○
不動団地集会所	中元寺4264	○	○
不動教育集会所	中元寺3817-2	○	○
猿渡公民館	中元寺3489-3	×	○
野田公民館	野田1623-1	○	○

※町四公民館は、現在移設工事中のため令和8年度から使用可能です。

### 指定福祉避難所

一般の避難所生活が困難な要配慮者(高齢者、障がいのある人など)を受け入れるための施設です。

※災害の状況や避難者の状況を踏まえて、町が開設します。

名称	住所	洪水	土砂災害
津野公民館	津野6059	○	×
彦山駅防災施設	落合805-1	○	○
中元寺公民館	中元寺2465	○	○

※特別養護老人ホーム 添寿園は、現在移設工事中のため令和7年度から使用可能です。

## 避難生活でのマナー・ルール

### ①ゴミのマナー

原則として、ゴミは各自で持ち帰ることとなっています。長期の避難生活になった場合は、ゴミの分別に協力しましょう。



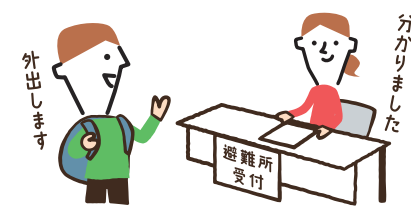
### ②時間のマナー

避難所では夜間に消灯時間などを設けることがあります。避難生活において、休めるときにゆっくり休むことが重要になりますので、みんなで協力しましょう。



### ③出入りのマナー

避難所を出入りするときは、避難所担当者へお知らせください。不審者等の出入りを防ぐ効果があります。また、避難所を退去して自宅等に戻られる際も同じになります。





## 家族の連絡先

名前	電話番号	住所	備考

▼避難先

▼離ればなれになったときの家族などの集合場所

## いざという時の連絡先

消防(火事・救急) ... 119

警察(事件・事故) ... 110

**役場** 添田町役場 ..... 0947-82-1231

**消防・警察**

田川地区消防本部 ..... 0947-44-0650  
 田川地区消防本部 添田分署 ..... 0947-82-0500  
 田川警察署 ..... 0947-42-0110  
 田川警察署 添田警部交番  
 田川地区火災情報  
 テレホンセンター ..... 0947-42-0119

**国・県  
など**

福岡管区气象台 ..... 092-725-3605  
 遠賀川河川事務所 ..... 0949-22-1830  
 遠賀川河川事務所 田川出張所 ..... 0947-44-0568  
 北九州国道事務所 ..... 093-951-4331  
 福岡県 田川県土整備事務所 ..... 0947-42-9111

**ライフ  
ライン**

九州電力送配電  
 (停電情報自動応答サービス) ..... 0120-426-305  
 NTT(電話サービスの故障) ..... 113

## 災害用伝言サービス

### 災害用伝言ダイヤル(171)

安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、  
 全国からその音声を再生(確認)できます。

**171**

にダイヤルし、  
 ガイダンスにしたがう

録音する場合

**1**

再生する場合

**2**

連絡を取りたい人の自宅や携帯電話番号を入力

伝言を録音

伝言を再生

### 災害用伝言板(web171)

インターネットを利用して被災地の人の安否確認ができます。

#### 災害用伝言板(web171)にアクセス

伝言を登録する場合  
 電話番号を入力して  
 「登録」を選択

伝言を確認する場合  
 電話番号を入力して  
 「確認」を選択

伝言を選択または入力して  
 「登録」を選択

●「無事です。」●「被害があります。」  
 ●「自宅にいます。」●「避難所にいます。」等  
 ●伝言を入力する(100文字以内)

メッセージを確認  
 (伝言の追加登録も可能)

### 災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン)

安否情報を文字で登録し、他社の携帯電話やパソコンからも確認できます。  
 登録・確認方法は、携帯電話各社のHPでご確認ください。

防災ハザードマップの問合せ先

添田町 防災管財課 防災安全係  
 〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田2151

電話:0947-82-4002  
 FAX:0947-82-2869